

第6次都留市長期総合計画  
政策・施策評価  
報告書

— 令和3年度分 —

都留市

## 内容

1. 基本的な考え方 .....	1
(1) 長期総合計画の施策体系 .....	1
(2) 計画の進捗評価について .....	1
2. 評価 .....	2
(1) 手法 .....	2
(2) 評価対象 .....	3
3. 令和3年度 政策・施策評価結果 .....	4
(1) 産業・基盤分野 .....	4
① 豊かな産業のあるまちづくり .....	4
② 快適で機能的なまちづくり .....	11
(2) 福祉・子育て・健康分野 .....	14
① 地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり .....	14
② 一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり .....	19
③ はつらつとして暮らせるまちづくり .....	23
(3) 教育分野 .....	26
① 知の資源と連携したまちづくり .....	26
② 生きる力を育む学校教育のまちづくり .....	29
③ 地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり .....	31
(4) 生活・環境分野 .....	35
① いつまでも美しいまちづくり .....	35
② 快適で潤いのある生活を送れるまちづくり .....	38
(5) 安全・安心、コミュニティ分野 .....	42
① 安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」 .....	42
② 個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり .....	49
(6) 行財政分野 .....	54
① 健全な行政運営のまち .....	54
② 質の高い行政サービスが提供されるまち .....	58

## 1. 基本的な考え方

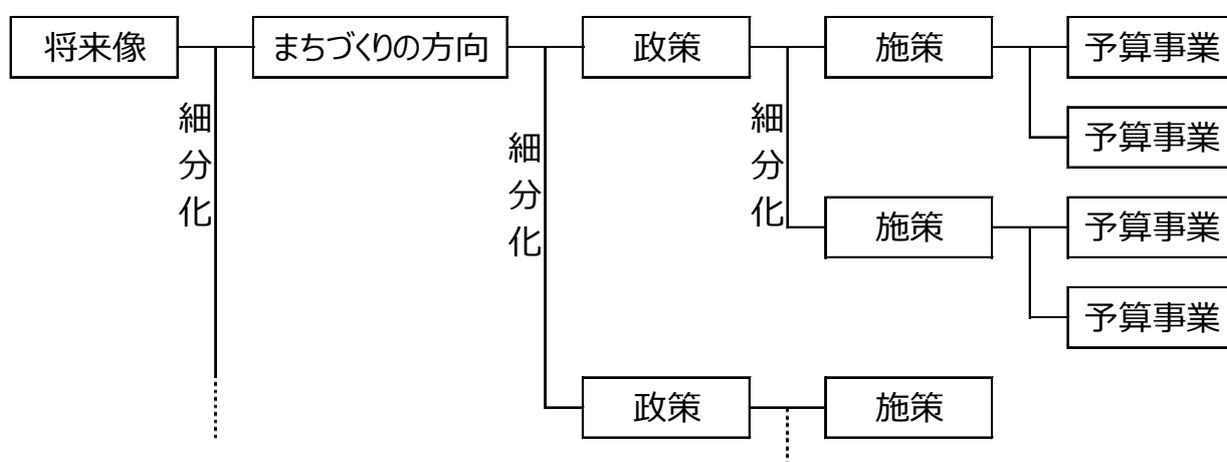
### (1) 長期総合計画の施策体系

第6次都留市長期総合計画では、基本構想において、目指すべき将来像「ひと集い 学びあふれる 生涯きらめきのまち つる」を設定し、この実現に向け、まちづくりの方向（分野）を6つ定めています。

そして、これらを実現するための手立てとして基本計画を策定しており、まちづくりの方向を細分化していく形で、政策、そして施策が設定されています。

また、各課・各担当における予算事業は施策をさらに細分化したものとして設定し、計画の進捗を行う形を取っています。

■長期総合計画の体系図（例）

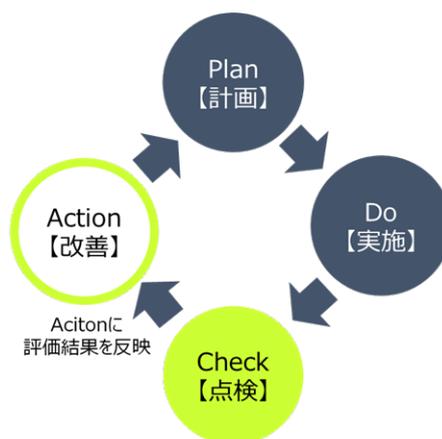


### (2) 計画の進捗評価について

計画の進捗評価は、PDCA（Plan【計画】・Do【実施】・Check【点検】・Action【改善】）サイクルの中における「C」として位置付けられており、計画期間内に行う業務成果を評価し、その結果を「A」である改善へとつなげることによって、行政サービスを向上させる重要な業務の一つです。

本報告書では、令和3年度に実施した政策及び施策の評価結果をお示しし、皆様に市政の状況をお知らせします。

■PDCAサイクル



## 2. 評価

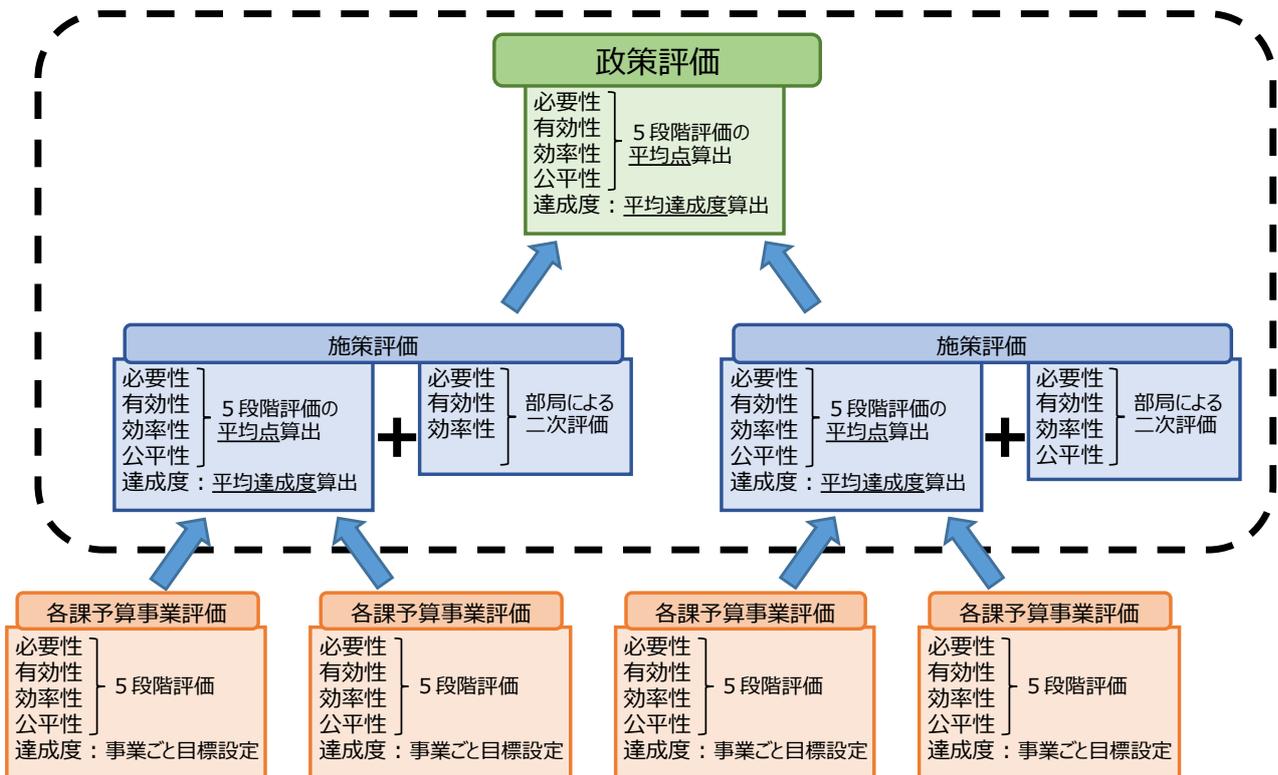
### (1) 手法

政策・施策の評価方法については、第6次都留市長期総合計画に定める目指すべき将来像を実現するために、取り組みを細分化していく体系となっているため、各課において実施される行政評価を基礎として、その成果等を積み上げる方式をとることにより、政策・施策の評価を実施します。

具体的には、個別の事業について、各課が「必要性」、「有効性」、「効率性」、「公平性」、「達成度」の5つの項目ごとに1～5の点数をつけていますので、その平均点を算出する形となります。計画に対する事業の進捗度は、5に近づくほど高く、1に近づくほど低くなっています。この積みあがった評価を基に、再度施策全体を見て実施する2次評価を行い、施策評価が決定します。そして、この平均点を算出し、上位の政策・施策の評価を決定する仕組みとなっています。

また、各事業評価の際に設定した成果目標の達成度も平均し、事業進捗度という形で評価するとともに、事業にかかったコストも積み上げ、プロジェクト全体でいくらかかったのかを明らかとします。

#### ■評価の仕組み



## (2) 評価対象

前項に記載したとおり、今回の政策・施策評価は、各課・各担当による行政評価がベースとなっています。しかし、行政評価としては、行政評価実施要綱が定められており、この中で下記のことを対象として限定しているため、全ての予算事業が評価対象となっているわけではありません。

### 3 対象事業

評価対象となる事務事業は、第6次長期総合計画実施計画に掲載されている事業を基本とする。ただし、実施計画から除外されている施設管理経費は含むものとする。なお、次の事業は、行政評価の効果が低いものと考えられるため、評価対象から除外する。

#### (1) 市の裁量の余地がないもの又は行政評価に馴染まないもの

- ・ 法定受託事務（国政選挙、生活保護、戸籍事務等）
- ・ 市債償還金、還付金及び還付加算金、生活保護費、児童手当費、臨時福祉給付金など

#### (2) 普通建設事業

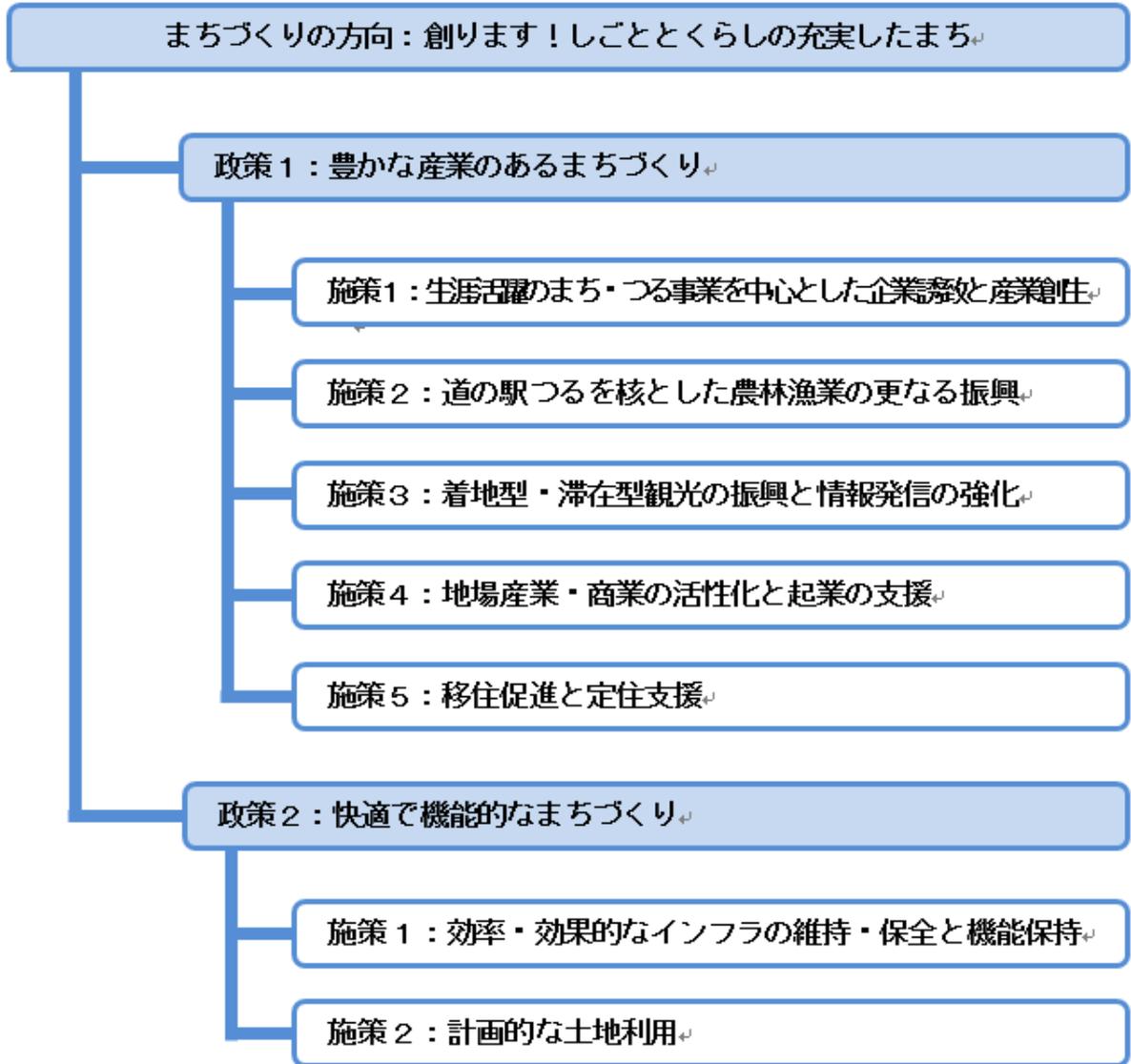
- ・ 道路、橋りょう、学校、庁舎等公共用または公共用施設の新増設等の建設事業（実施設計を含む）
- ・ 1件1,000千円以上の備品購入

このため、施策によっては下位に位置する予算事業が無く、施策評価が不可能な項目も出てくる場合があります。この場合、上位の政策評価をもって全体の進捗を測るものとします。

また、評価の判断基準としている令和3年度の政策・施策においてぶら下がる事業がない場合は、今回の評価対象から除外した上で評価を実施しています。

### 3. 令和3年度 政策・施策評価結果

#### (1) 産業・基盤分野



#### ① 豊かな産業のあるまちづくり

##### ■政策評価結果

各施策の評価を基に、「豊かな産業のあるまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均4.4（5点満点）となり、100点満点換算では87.4点でした。また、一方で成果目標による達成度は64.7%となりました。

プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費2,575,048千円、人件費64,599千円、そして歳入として補助金等108,322千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては2,531,325千円となりました。

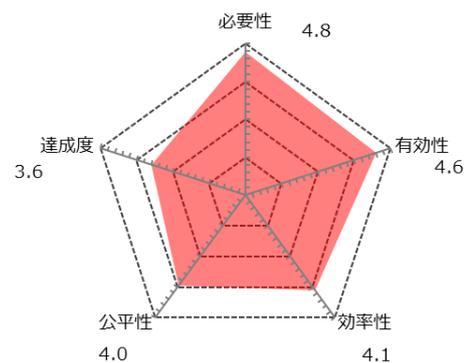
■政策評価										
施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費 (千円)	人件費 (千円)	補助金等 (千円)	純コスト (千円)	達成度	
生涯活躍のまち・つるを中心とした企業誘致と産業創生	4.8	4.8	5.0	4.0	200,935	17,810	47,291	171,454	5.0	
道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興	4.1	4.0	4.1	3.8	123,210	17,511	57,958	82,763	3.3	
着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化	5.0	5.0	4.0	4.8	46,230	13,774	528	59,476	2.2	
地場産業・商業の活性化と起業の支援	5.0	4.3	3.5	4.3	2,193,788	11,233	1,676	2,203,345	4.0	
移住促進と定住支援	5.0	5.0	4.0	3.0	10,885	4,271	869	14,287	5.0	
平均・合計	4.8	4.6	4.1	4.0	2,575,048	64,599	108,322	2,531,325	3.9	
総合評価					必要性	有効性	効率性	公平性	平均	100点換算
					4.8	4.6	4.1	4.0	4.4	87.4点
■政策成果目標達成度										
項目	現況値	目標	達成度	達成度 算出	達成度					
企業誘致件数（生涯活躍のまち・つる事業以外も含む）	6	5	5.0	120.0	5.0					
都留市企業立地支援条例適用件数	0	3	1.0	0.0	1.0					
道の駅つる生産者組合員登録総件数	185	223	4.3	83.0	4.3					
道の駅つる売上高（税込）	2.2	3.01	3.9	73.1	3.9					
観光客（観光関連施設）入れ込み数	989,780	1,000,000	5.0	99.0	5.0					
市内宿泊者数	107,006	50,000	5.0	214.0	5.0					
市内民泊施設件数	6	8	4.0	75.0	4.0					
小売業・卸売業の年間商品販売額	0	53,000	1.0	0.0	1.0					
新規創業者支援補助金交付者数	0	14	1.0	0.0	1.0					
空き家バンク成約数	83	12	5.0	691.7	5.0					
年間社会増減	△146	157	1.0	-93.0	1.0					
平均・合計			3.3							
					平均	達成度による進捗度				
					3.6	64.7				

■レーダーチャート

各項目の総合得点をレーダーチャート化して見ると、達成度が5点中3.6点と若干低くなっています。

この政策を構成する各取組を見ていくと、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光客入込数や道の駅つるを軸とした取組について、成果が伸び悩んだ状況があります。

また、今後進める企業誘致については、企業数の増加と併せて市内雇用数等、地域還元に対する成果を踏まえた評価という視点を、今後踏まえていく必要があります。



■ 施策評価結果

### 第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)

まちづくりの方向	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
政策	豊かな産業のあるまちづくり
施策	★生涯活躍のまち・つるを中心とした企業誘致と産業創生
めざす目的・成果	・本市に住む市民全体の豊かな暮らしの実現 ・地域おこし協力隊員の定住と新たな産業（起業）の創出 ・市内労働力の確保と労働環境の改善

### 二次評価 (担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率的性	公平性	平均	達成度
1 生涯活躍のまち・つる	15,675千円	168,357千円	184,032千円	5	5	5	5	5.0	5
2 地域おこし協力隊推進事業	1,068千円	26,668千円	27,736千円	4	4	5	5	4.5	5
3 労働対策事業	1,068千円	5,913千円	6,981千円	5	5	5	5	5.0	5
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
<b>合計・平均</b>	17,810千円	200,938千円	218,748千円	4.7	4.7	5.0	5.0	4.8	5.0

■ 一次評価結果

点 数	96.7点 /100点
-----	-------------

■ コスト

予算現額	830,249千円	執行額①	200,935千円	執行率	24.2%
人件費②	17,810千円	補助金等③	47,291千円	純コスト①②③	171,454千円

### 二次評価 (部局等による評価)

① 施策の必要性

施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 低い 2 低い 3 普通 4 高い 5 高い
-----------------------	--------------------------------------

② 施策の有効性

政策への貢献度や効果の検証	1 低い 2 低い 3 普通 4 高い 5 高い
---------------	--------------------------------------

③ 施策の効率的性

費用対効果、事業規模などを総合的に判断	1 低い 2 低い 3 普通 4 高い 5 高い
---------------------	--------------------------------------

④ 施策の公平性

受益者が限定されていないか、負担は適当か、総合的に判断	1 低い 2 低い 3 普通 4 高い 5 高い
-----------------------------	--------------------------------------

■ 総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)

必要 有効 効率的 公平	4.8 5.0 5.0 5.0
--------------	-----------------

■ 達成度 100.0%

■ 施策評価結果

点 数	98.3点 /100点
-----	-------------

■ 評価のレーダーチャート

■ 来年度取り組みに向けた課題・所見

・単独型居住プロジェクトと併せて、複合型居住プロジェクトの進捗に向けて、エリア検討や実施計画の検討を行ってきた。また、地域再生推進法人を導いた地域おこし協力隊により、行政の垣根を超えた官民連携体制のもと、各種の生涯活躍のまちの取組を実施している。

・今後も新型コロナウイルス感染症の影響によって、地域コミュニティの活動の制限や、活動ができない中でのコミュニティの弱体化・縮小化が多岐の自治体で課題となっている中で、都留文科大学生や高齢者、子育て世帯などの様々な層が「ごちゃ混ぜ」となって地域活動を積極的に図り、地域力強化につなげていくための「生涯活躍のまち」の取組はますます重要になっていくといえる。

・今後も官民連携・庁内連携を継続し、子育て世帯・高齢者・大学生等、多様なまちづくりの主体が積極的に交流を図るハード整備やソフト事業の構築等により、充実化を進める。

・労働対策事業については、オンラインによる合同企業説明会を開催し、15企業が参加するなど、コロナ禍の中においても工夫を講じて、成果に結び付けているのは評価に値する。今後社会的要因による活動の制限の発生は否めないため、手法やアプローチを後継し、経済活動の発展を止めない工夫を講じていく。

・なお、長期総合計画の後期基本計画の実施にあたっては、デジタル活用等の自治体DXやSDGsといった社会的な潮流を踏まえた新たなアプローチも踏まえた「生涯活躍のまち」の取組を推進していく。

主管部局・課チェック欄	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------	-------------------------------------

分野1政策1施策1



第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)

まちづくりの方向	産業・基盤分野 創ります！しごととくららの充実したまち
政策	豊かな産業のあるまちづくり
施策	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化 ・都留市の観光資源等の知名度上昇 ・自然観光資源への観光客増加を図る。 ・歴史文化的資源・郷土に伝わる芸能を伝承し、観光資源として来訪者増加を図る 等
めざす目的・成果	

一次評価 (担当課による評価)

■ 施策を構成する予算事業と評価

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 観光宣伝事業	1,068千円	4,386千円	5,454千円	5	5	3	5	4.5	1
2 自然観光管理事業	1,709千円	11,322千円	13,031千円	5	5	4	3	4.3	1
3 ふるさと芸能事業	1,175千円	868千円	2,043千円	5	5	5	5	5.0	2
4 富士の麓の小さな城下町振興事業	4,271千円	8,264千円	12,535千円	5	5	4	5	4.8	1
5 宝の山ふれあいの里管理運営	4,271千円	5,055千円	9,326千円	5	4	4	5	4.5	3
6 戸沢の森和みの里管理運営事業	641千円	15,641千円	16,282千円	5	5	4	5	4.8	4
7 十日市場・夏狩湧水群管理運営事業	641千円	697千円	1,338千円	5	5	4	4	4.5	1
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	13,774千円	46,230千円	60,004千円	5.0	4.9	4.0	4.6	4.6	1.9

■ 一次評価結果  
点 数  
92.1点 /100点

■ コスト

予算現額	60,710千円	執行額①	46,230千円	執行率	76.1%
人件費②	13,774千円	補助金等③	528千円	純コスト④	59,476千円

二次評価 (部局等による評価)

① 施策の必要性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5
施策の公益性 市民ニーズなどを 総合的に判断	5
② 施策の有効性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5
政策への貢献度 や効果の検証	5
③ 施策の効率性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5
費用対効果 事業規模など 総合的に判断	4
④ 施策の公平性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5
受益者が限定さ れていないか 負担は適当か 総合的に判断	5

■ 総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)

必要性	5.0
有効性	4.9
効率性	4.0
公平性	4.8

■ 施策評価結果  
点 数  
93.6点 /100点

■ 評価のレーダーチャート

■ 本年度取り組みに向けた課題や所見

- ・新型コロナウイルス感染症の影響下を顕著に受けており、各観光拠点をいかにして盛り上げるかが課題ではあったが、制限のある中で、特色を生かしたイベントの開催や誘客の取組を行っている。今後もそれぞれの観光拠点において、PR戦略や特徴的なソフト事業を検討の上で取組を進めていく。
- ・また今後は、都市部からの利便性や自然環境や城下町の歴史等、都留市ならではの特色のPRを行っていくとともに、デジタル活用による体験型の観光コンテンツによる誘客も図っていく。
- ・なお、感染症の中で、市外からの滞在者やインバウンドはもろ重要な観客であるが、そうした外からの集客だけでなく、市民のシビックプライドの醸成を目的とした「観光」の取組や、持続可能な「人の流れ」の構築が重要であると考ええる。

主管部局・課チェック欄

分野【政策】施策3

第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)

まちづくりの方向	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
政策	豊かな産業のあるまちづくり
施策	★地場産業・商業の活性化と起業の支援
めざす目的・成果	・寄付向上、ふるさと納税を自主財源とした賑わいと活力あるふるさとづくり事業への活用 ・設備資金等を促進し、地域経済活動の安定に資する。 ・市内中小事業者の販路拡大などを促し地場産業の発展を推進する。

二次評価 (担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 ふるさと応援寄付金事務費	6,108千円	2,168,804千円	2,175,912千円	5	5	3	4	4.3	5
2 金融対策事業	641千円	3,374千円	4,015千円	5	5	4	4	4.5	5
3 商工業振興対策事業	214千円	3,786千円	4,000千円	5	4	4	5	4.5	5
4 産業振興対策事業	4,271千円	17,036千円	21,307千円	5	3	3	4	3.8	1
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	11,233千円	2,193,788千円	2,205,021千円	5.0	4.3	3.5	4.3	4.3	4.0

■一次評価結果

点数	85.0点 /100点
----	-------------

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト④
2,290,434千円	2,193,788千円	95.8%	11,233千円	1,676千円	2,203,345千円

二次評価 (部局等による評価)

① 施策の必要性	1 低い 2 3 4 5 高い
② 施策の有効性	1 低い 2 3 4 5 高い
③ 施策の効率性	1 低い 2 3 4 5 高い
④ 施策の公平性	1 低い 2 3 4 5 高い

■総合評価 (一次評価・二次評価の平均点)

必要性	5.0
有効性	4.3
効率性	3.5
公平性	4.3

■施策評価結果

点数	85.0点 /100点
達成度	75.0%

■評価のレーダーチャート

■来年度取り組みに向けた課題や所見

・ふるさと納税については、これまでにないPR戦略やシャインマスカットの市外・県外の関心の高い返礼品を活用し、寄付額の大幅な向上と、都留市の知名度アップにつなげた。  
 ・今後は、都留市のふるさと納税のPRを継続していくとともに、地域還元を目的とした寄附の運用など、地域の整備や取組にふるさと納税が活用されるスキームを構築していく。  
 ・企業誘致に関しては、市のさらなる発展につながる取組を進めるにあたり、企業立地支援条例を改正するなど、関係部局とのきめ細やかな調整を図り、企業や法人とのパートナーシップの中での発展に取り組んでいく。  
 ・新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、市内事業者に対しては、各種支援制度や補助金のメニュー等、社会的な課題を踏まえた対策を講じているが、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」観点からも、柔軟な制度設計は重要である。

主管部局・課チェック欄

分野1政策1施策4

第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)

まちづくり の方向	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
政策	豊かな産業のあるまちづくり
施策	★移住促進と定住支援
めざす 目的・成果	・人口減少の克服

二次評価 (担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	公平性	平均	達成度
1 定住人口対策費	4,271千円	10,885千円	15,156千円	5	5	4	4.3	5
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
合計・平均	4,271千円	10,885千円	15,156千円	5.0	5.0	4.0	4.3	5.0

■一次評価結果

点数	85.0点 /100点
----	-------------

■コスト

予算現額	10,885千円	執行率①	42.4%
人件費②	4,271千円	補助金等③	869千円
総コスト④	14,287千円		

二次評価 (部局等による評価)

① 施策の必要性 施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 低い 2 3 4 5 高い	5段階評価 1~5
② 施策の有効性 政策への貢献度や効果の検証	1 低い 2 3 4 5 高い	5段階評価 1~5
③ 施策の有効性 費用対効果、事業規模などを総合的に判断	1 低い 2 3 4 5 高い	5段階評価 1~5
④ 施策の公平性 受益者が限定されていないか、負担は適当かを総合的に判断	1 低い 2 3 4 5 高い	5段階評価 1~5

■総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)

必要性	5.0
有効性	5.0
公平性	3.0

■施策評価結果

点数	85.0点 /100点
達成度	100.0%

■評価のリーダーチャート

■ 来年度取り組みに向けた課題や所見

- ・新型コロナウイルス感染症の影響の中で、テレワークなどの都市部にこだわらない働き方や二拠点居住などの地域に住みながら都市部で働く層が増えていることから、定住人口対策である通勤・通学補助や空き家バンク利用活用補助金の利用が増加している傾向である。
- ・こうした補助の活用が図られることが都留市への定住人口対策とつながっているか検証が必要であるとともに、昼人口・夜人口のバランスや、市外・県外の都留文科大学学生の将来的な定住の増加、子育て世帯等の定住につながる対策など、「定住を想定している層」へのスポットでの情報発信や定住メニューの準備など、きめ細やかな対策を講じていく必要があると考える。

主管部局・課チェック欄

分野1政策1施策5

## ② 快適で機能的なまちづくり

### ■政策評価結果

各施策の評価を基に、「快適で機能的なまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均4.2（5点満点）となり、100点満点換算では84.4点でした。また、一方で成果目標による達成度は87.2%となりました。

プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費110,721千円、人件費34,141千円、そして歳入として補助金等57,500千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては72,762千円となりました。

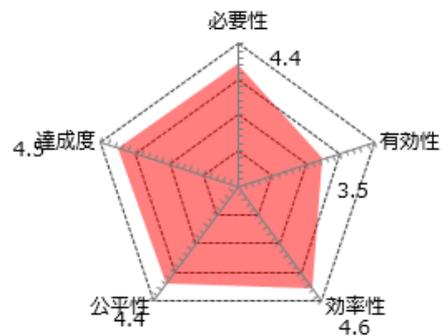
■政策評価									
施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費 (千円)	人件費 (千円)	補助金等 (千円)	純コスト (千円)	達成度
効率的・効果的なインフラの維持保全と機能保持	4.9	4.0	4.1	4.8	110,197	19,327	57,500	72,024	3.0
計画的な土地利用	4.0	3.0	5.0	4.0	524	214	0	738	5.0
平均・合計	4.4	3.5	4.6	4.4	110,721	19,541	57,500	72,762	4.0
総合評価					平均				
					4.2	100点換算 84.4点			
■政策成果目標達成度									
項目	現況値	目標	達成度	達成度 算出	達成度				
市道舗装率	85.83	86.67	5.0	99.0	5.0				
市道及び橋梁の健全性	73.96	75.08	4.9	98.5	4.9				
市民1人当たり都市公園面積	7.3	7	5.0	104.3	5.0				
開発行為指導件数	18	15	5.0	120.0	5.0				
平均・合計			5.0			達成度	達成度による進捗度		
						4.5	87.2		

### ■レーダーチャート

各項目の総合得点をレーダーチャート化して見ると、有効性が他の指標と比べて低くなっていますが、その他は得点できている状況です。

インフラの整備・維持と計画的な土地利用は、まちづくりにおける持続可能性や長寿命化に深く関連する基盤であるため、今後も有効性を高めることとあわせ、適切な計画の進捗管理が必要です。

なお、都市公園関連事業の成果については、面積といった定量的な評価と併せ、市民ニーズや地域コミュニティの創造といった観点を踏まえた、評価が必要だと考えられます。



■ 施策評価結果

二次評価（部局等による評価）

■ 総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価	公平性
必要性	4.9
効率性	4.1
公平性	4.8

■ 施策評価結果

点 数 /100点  
88.8点

達成度  
50.0%

■ 評価のレーダーチャート

第6次長期総合計画政策・施策評価シート（R3年度ベース）

まちづくりの方向	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
政策	快適で機能的なまちづくり
施策	効率的・効果的なインフラの維持・保全
めざす目的・成果	・安全・安心で快適に利用ができる都市公園 ・市営住宅入居者の快適な生活、市民等の安全で快適な道路及び橋梁の確保 ・車道及び歩行者の通行帯の確保（市民等の安全で快適な道路の確保）

一次評価（担当課による評価）

■ 施策を構成する予算事業と評価

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	効率性	公平性	平均	達成度
1 都市公園管理事業	2,350千円	4,686千円	7,036千円	4	4	5	4.3	5
2 公営住宅施設管理費	9,290千円	57,500千円	66,790千円	5	3	5	4.5	1
3 市単道路橋梁維持補修事業	6,620千円	33,352千円	39,972千円	5	5	4	4.5	1
4 除雪関係事業	1,068千円	14,660千円	15,728千円	5	4	4	4.3	5
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
合計・平均	19,327千円	110,197千円	129,524千円	4.8	4.0	4.3	4.5	4.4

■ 一次評価結果

点 数 /100点  
87.5点

■ コスト

予算現額	129,176千円	執行額①	110,197千円	執行率	85.3%
人件費②	19,327千円	補助金等③	57,500千円	純コスト①②③	72,024千円

■ 来年度取り組みに向けた課題や所見

- ・ 柴山公園の老朽化など、既存の公園についての計画的な整備が必要な中、子育て世帯からの多数量望もあるように、子どもが滞在可能な設備やソフト機能を備えた、公園の整備は喫緊の課題となっている。こうした中で、田原地区の複合型居住プロジェクトとの連携による公園整備の計画は、重点施策として、各種要望や立地特性を踏まえながら整備していく必要がある。
- ・ また、道路管理に関しては、現在運用を行っている道路維持管理通報システム（LINE通報システム）のように、効率的な道路管理を実施していくために、管理運営におけるDX化やシステム化を拡充していく必要がある。
- ・ 公営住宅を含むインフラの整備計画については、各種計画に基づき施設の解体なども踏まえた、現状に即した精査を図るとともに、子育て世帯の利用促進等につながるソフト面の充実を図っていくことが重要と考える。

主管部局・課チェック欄

分野1政策2施策1

第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)

まちづくりの方向	産業・基盤分野 創ります！しごととくらの充実したまち
政策	快適で機能的なまちづくり
施策	計画的な土地利用 ・安全・安心な公園の利用
めざす目的・成果	

二次評価 (担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 公園管理事業	214千円	524千円	738千円	4	3	5	4	4.0	5
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	214千円	524千円	738千円	4.0	3.0	5.0	4.0	4.0	5.0

■一次評価結果  
点数 80.点 /100点

■コスト	予算額	783千円	執行額①	524千円	執行率	66.9%	人件費②	214千円	補助金等③	純コスト④	738千円
------	-----	-------	------	-------	-----	-------	------	-------	-------	-------	-------

二次評価 (部局等による評価)

① 施策の必要性 施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	4
② 施策の有効性 政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	3
③ 施策の効率性 費用対効果、事業規模などを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	5
④ 施策の公平性 受益者が限定されいないか、負担は適当かを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	4

■総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)

総合評価	4.0
必要性	3.0
有効性	5.0
公平性	4.0

■達成度 100.0%

■施策評価結果 点数 80.点 /100点

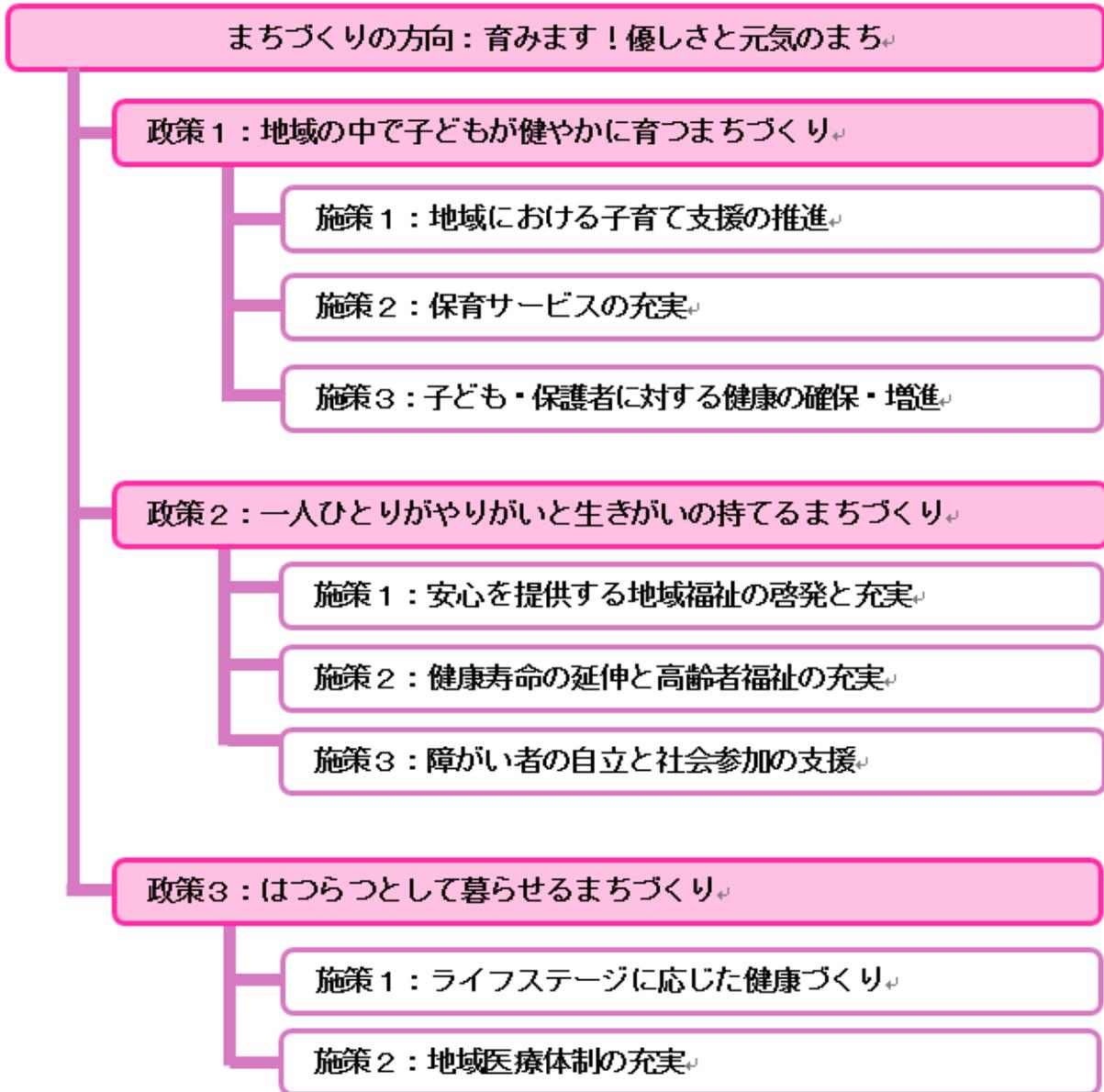
■評価のレーダーチャート

■来年度取り組みに向けた課題や所見  
・新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかつた観光振興イベントについては、市民のニーズを踏まえつつ、改善点等も考慮しながら、機会の創出に取り組んで行くことが重要である。  
・勝山城跡は県指定史跡であるとともに、市の重要な歴史的拠点でもある。史跡としての価値を維持するため、関係部局と連携しながら適切な保存を行いつつ、デジタル活用によるかつての城山再現といったリアルとバーチャルの双方向によるコンテンツの整備・拡充を図ること、一過性のイベントではない、観光拠点でありながら、市民も楽しんで歴史的文化を学べる環境が構築できるものと考えている。  
・今後も、保存と利活用の双方の面から、市内の歴史文化資産の活用を進めていく。

主管部局・課チェック欄

分野1政策2施策2

## (2) 福祉・子育て・健康分野



### ① 地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり

#### ■政策評価結果

各施策の評価を基に、「地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均4.4（5点満点）となり、100点満点換算では89.0点でした。また、一方で成果目標による達成度は51.9%となりました。

プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費163,311千円、人件費30,365千円、そして歳入として補助金等23,962千円であり、歳入を差し引いて、

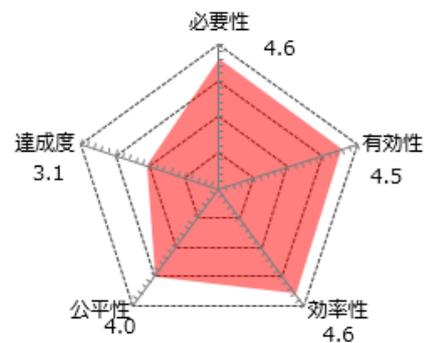
純コストとしては169,714千円となりました。

■政策評価									
施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費 (千円)	人件費 (千円)	補助金等 (千円)	純コスト (千円)	達成度
地域における子育て支援の推進	4.1	3.9	4.1	4.0	109,284	6,010	18,165	97,129	3.5
保育サービスの充実	4.8	4.8	5.0	4.0	13,305	18,525	2,907	28,923	1.0
子ども・保護者に対する健康の確保・増進	5.0	5.0	4.8	4.0	40,722	5,830	2,890	43,662	3.0
平均・合計	4.6	4.5	4.6	4.0	163,311	30,365	23,962	169,714	2.5
総合評価					必要性	有効性	効率性	公平性	平均
					4.6	4.5	4.6	4.0	4.4
									100点換算
									89.0点
■政策成果目標達成度									
項目	現況値	目標	達成度	達成度 算出	達成度				
マタニティタクシー助成件数	6	10	3.4	60.0	3.4				
ファミリー・サポートセンター利用者数	264	200	5.0	132.0	5.0				
放課後児童クラブ（学童保育）実利用率	50.1	95	3.1	52.7	3.1				
乳幼児健診受診率	96.8	98.9	4.9	97.9	4.9				
育児関連教室への参加者数	166	790	1.8	21.0	1.8				
平均・合計			3.7			平均	達成度による進捗度		
						3.1	51.9%		

■レーダーチャート

レーダーチャートで見ると、達成度が3.1と低くなっています。この部分については、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、放課後児童クラブや育児関連教室の参加者数が、伸び悩んだことが要因と考えられます。

今後の人口構成を考える上でも、子育て支援のさらなる充実や周知が必要になっているため、多方面からの子育て世代への支援が重要であり、現状の事業を整理した上で、実際のニーズを踏まえ、事業構築・運営をしていくことが重要です。



■ 施策評価結果

二次評価 (部局等による評価)

まちづくりの方向	福祉・子育て・健康分野 育みます！ 優しく元気のまち
政策	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
施策	★地域における子育て支援の推進
めざす目的・成果	・子どもの健全な育成及び安心して子どもを産み育てる環境づくり ・子育て世代が利用しやすい店舗等を増やすとともに、市民に周知することで子育て環境を整備 ・地域の中でリーダーシップがとれる青少年の育成 等

一次評価 (担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 すこやか子育て医療費助成事業	1,269千円	100,699千円	101,968千円	5	5	5	5	5.0	5
2 子育て応援店登録事業	43千円		43千円	2	1	2	3	2.0	3
3 青少年健全育成事業 (のびのび興譲館)	2,563千円	565千円	3,128千円	5	4	5	4	4.5	5
4 青少年健全育成事業 (放課後子ども教室事業補助金)	2,136千円	8,021千円	10,157千円	5	5	5	4	4.8	1
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	6,010千円	109,284千円	115,294千円	4.3	3.8	4.3	4.0	4.1	3.5

■ 一次評価結果

点 数	81.3点 /100点
-----	-------------

■ コスト

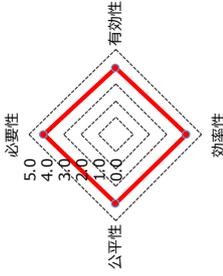
予算現額	114,881千円	執行額①	109,284千円	執行率	95.1%	人件費②	6,010千円	補助金等③	18,165千円	純コスト①②③	97,129千円
------	-----------	------	-----------	-----	-------	------	---------	-------	----------	---------	----------

① 施策の必要性	施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 低い 2 3 3 4 4 5 高い	5段階評価 1~5	4
② 施策の有効性	政策への貢献度や効果の検証	1 低い 2 3 3 4 4 5 高い	5段階評価 1~5	4
③ 施策の効率性	費用対効果、事業規模などを総合的に判断	1 低い 2 3 3 4 4 5 高い	5段階評価 1~5	4
④ 施策の公平性	受益者が限定されいないか負担は適当か総合的に判断	1 低い 2 3 3 4 4 5 高い	5段階評価 1~5	4

■ 総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.1	3.9	4.1	4.0

■ 施策評価結果	達成度
80.6点 /100点	62.5%

■ 評価のレーダーチャート



■ 来年度取り組みに向けた課題や所見

- ・子育て応援登録事業の登録向上については、現状のニーズなどを踏まえ、事業の廃止等も含めて検討を図る。
- ・青少年育成事業については、「スポーツ塾」等、地域活性化企業人を活用した新規の取り組みが行われる等、これまでにない取組がなされている点は評価に値する。こうした外部人材の知見や人材を活かす観点は、現状、主に職員が対応している「のびのび興譲館」全体についても活かされるべきであり、今後はそうした運用面のあり方についても推進していく。

主管部局・課チェック欄

分野2政策1施策1

第6次長期総合計画政策・施策評価シート(R3年度ベース)

まちづくりの方向	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
政策	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
施策	保育サービスの充実
めざす目的・成果	・入所児の適切な施設・設備の管理を行い、健全な保育事業が行えるよう環境を整備する。 ・入所児童の健全な育成 安心・安全な給食の提供や食育の取り組みにより、肥満や痩せている児童の減少を図る。

一次評価（担当課による評価）

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 保育所管理費	5,725千円	8,708千円	14,433千円	5	5	5	4	4.8	1
2 保育所事業費	12,801千円	4,596千円	17,397千円	4	4	5	4	4.3	1
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	18,525千円	13,305千円	31,830千円	4.5	4.5	5.0	4.0	4.5	1.0

一次評価結果

点数	90.点 /100点
----	------------

コスト

予算現額	16,563千円	執行額①	13,305千円	執行率	80.3%	補助金等③	2,907千円	純コスト①②③	28,923千円
------	----------	------	----------	-----	-------	-------	---------	---------	----------

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性	②施策の有効性	③施策の効率性	④施策の公平性
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断 低い 1 2 3 4 5 高い 5段階評価	政策への貢献度や効果の検証 低い 1 2 3 4 5 高い 5段階評価	費用対効果、事業規模などを総合的に判断 低い 1 2 3 4 5 高い 5段階評価	受益者が限定されていなくか負担は適当か総合的に判断 低い 1 2 3 4 5 高い 5段階評価

■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

必要性	4.8	有効性	5.0	公平性	4.0
-----	-----	-----	-----	-----	-----

■施策評価結果

点数	92.5点 /100点
----	-------------

■評価のレーダーチャート

来年度取り組みに向けた課題や所見

・本市の保育環境は官と民による運営が図られており、待機児童ゼロの状態を維持している。  
 ・今後の宝保育所のあり方については、市全体の保育の環境確保を考慮したうえで、運営の継続の是非なども踏まえ、推進していく必要がある。  
 ・また、今後は「教育首都つる」における探究型学習の実践に伴い、官と民が連携しながら、主体的な子どもたちの育成を推進していくことが重要である。

主管部局・課チェック欄

分野2政策1施策2

第6次長期総合計画政策・施策評価シート(R3年度ベース)

まちづくりの方向	福祉・子育て・健康分野 育みささと元気のまち
政策	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
施策	★子ども・保護者に対する健康の確保・増進
めざす目的・成果	・妊娠中から出産後の母親の身体的心理的安定を図ることができ安心して子育てに臨むことがで きる。 ・妊娠出産子育てに関する情報提供や各種体験・相談事業により、切れ目ない支援体制を構築す

一次評価(担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率的性	公平性	平均	達成度
1 母子健診・相談事業	4,549千円	27,359千円	31,908千円	5	5	5	4	4.8	1
2 母子健康づくり事業	1,282千円	1,283千円	2,565千円	5	5	4	4	4.5	5
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	5,830千円	40,722千円	46,552千円	5.0	5.0	4.5	4.0	4.6	3.0

■一次評価結果  
点 数  
92.5点 /100点

■コスト	予算総額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①②③
	40,722千円	40,722千円	100.0%	5,830千円	2,890千円	43,662千円

二次評価(部局等による評価)

① 施策の必要性 施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い	5
② 施策の有効性 政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5 低い 高い	5
③ 施策の効率的性 費用対効果、事業規模などを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い	5
④ 施策の公平性 受益者が限定されていないか、負担は適当か、総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い	4

■総合評価(一次評価、二次評価の平均点)

総合評価	必要性	有効性	効率的性	公平性
5.0	5.0	4.8	4.0	4.0

■達成度 50.0%

■評価のレーダーチャート

■来年度取り組みに向けた課題や所見

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、母親の孤立化が顕在化される中で、相談窓口や検診の際に母子に寄り添ったきめ細やかな配慮が必要である。
- ・産後ケアセンターについては、感染症の影響がある中で、産後の保護者の負担軽減や安心の向上につながるがっており、取組として評価できる。
- ・今後も感染予防を図りながら、母子の健康増進や安全・安心に係る体制づくりを継続していく。

主官部局・課チェック欄

分野2政策1施策3

② 一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり

■政策評価結果

各施策の評価を基に、「一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均3.7（5点満点）となり、100点満点換算では74.6点でした。また、一方で成果目標による達成度は52.4%となりました。

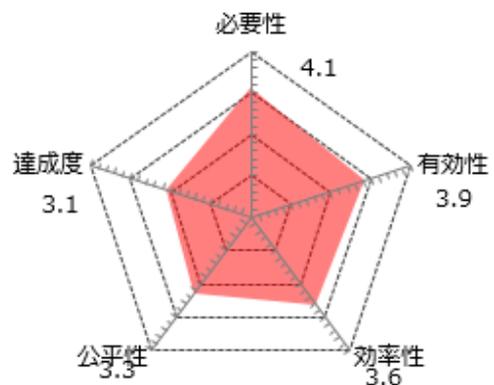
プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費31,019千円、人件費10,116千円、そして歳入として補助金等20,917千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては20,218千円となりました。

■政策評価										
施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費 (千円)	人件費 (千円)	補助金等 (千円)	純コスト (千円)	達成度	
安心を提供する地域福祉の啓発と充実	4.0	4.0	3.0	3.0	0	1,039	0	1,039	1.0	
健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実	4.1	3.8	3.9	3.9	23,072	5,019	12,970	15,121	3.2	
障がい者の自立と社会参加の支援	4.3	3.8	4.0	3.0	7,947	4,058	7,947	4,058	5.0	
平均・合計	4.1	3.9	3.6	3.3	31,019	10,116	20,917	20,218	3.1	
総合評価					平均					
					4.1	3.9	3.6	3.3	3.7	100点換算
					74.6点					
■政策成果目標達成度										
項目	現況値	目標	達成度	達成度 算出	達成度					
都留市ボランティア連絡会に登録している方の割合	16.3	13.0	5.0	125.1	5.0					
いーばしょづくり実施回数	410	1260	2.3	32.5	2.3					
いーばしょづくり開設数	29	45	3.6	64.4	3.6					
移動支援事業年間延利用時間	24	144	1.7	16.7	1.7					
地域活動支援センター利用者数	35	20	5.0	175.0	5.0					
平均・合計			3.1			達成度	達成度による進捗度			
						3.1	52.4%			

■レーダーチャート

レーダーチャート全体の数値の内、達成度が最も低い結果となっています。これについても、やはりコロナウイルス感染症の制限下において、いーばしょづくりの開設と実施回数や移動支援事業の時間が少なくなったことが要因となります。

こうした市民参加が中心となる取組については、参加者の増加といったアウトプット数値の増加と併せ、社会福祉的な支えあい意識の啓発や、結果でなく成果で測る指標としてのアウトカム指標を設定していくことが重要です。



■ 施策評価結果

第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)		二次評価 (部局等による評価)																																																																																																																																																																										
まちづくりの方向	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち	① 施策の必要性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5																																																																																																																																																																									
政策	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり	② 施策の有効性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5																																																																																																																																																																									
施策	★安心を提供する地域福祉の啓発と充実 ・ボランティアの養成や広報紙活動により、地域における福祉の推進を図る。	③ 施策の効率性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5																																																																																																																																																																									
めざす目的・成果		④ 施策の公平性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5																																																																																																																																																																									
<p>■ 施策を構成する予算事業と評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>人件費</th> <th>事業費</th> <th>総計</th> <th>必要性</th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> <th>公平性</th> <th>平均</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 社会福祉関係費</td> <td>1,039千円</td> <td></td> <td>1,039千円</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3.5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計・平均</td> <td>1,039千円</td> <td></td> <td>1,039千円</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> <td>3.5</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度	1 社会福祉関係費	1,039千円		1,039千円	4	4	3	3	3.5	1	2										3										4										5										6										7										8										9										10										11										12										13										14										合計・平均	1,039千円		1,039千円	4.0	4.0	3.0	3.0	3.5	1.0	<p>■ 二次評価 (部局等による評価)</p> <p>■ 総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策評価</th> <th>平均点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 施策評価結果</p> <p>点 数 70.点 /100点</p> <p>■ 評価のレーダーチャート</p> <p>■ 来年度取り組みに向けた課題や所見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業においては社会福祉協議会への補助金として、福祉バスの運行事業の補助金や各福祉に関わるボランティア団体への補助を実施している。</li> <li>・地域住民へのケアの充実化や、ボランティア団体による社会活動への支援を図ること</li> <li>で、住民相互の支え合い・地域住民の社会参加に寄与するため、来年度以降も継続的な支援を図り、地域の福祉の充実化を推進していく。</li> </ul>	施策評価	平均点	必要性	4.0	有効性	4.0	効率性	3.0	公平性	3.0
事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度																																																																																																																																																																			
1 社会福祉関係費	1,039千円		1,039千円	4	4	3	3	3.5	1																																																																																																																																																																			
2																																																																																																																																																																												
3																																																																																																																																																																												
4																																																																																																																																																																												
5																																																																																																																																																																												
6																																																																																																																																																																												
7																																																																																																																																																																												
8																																																																																																																																																																												
9																																																																																																																																																																												
10																																																																																																																																																																												
11																																																																																																																																																																												
12																																																																																																																																																																												
13																																																																																																																																																																												
14																																																																																																																																																																												
合計・平均	1,039千円		1,039千円	4.0	4.0	3.0	3.0	3.5	1.0																																																																																																																																																																			
施策評価	平均点																																																																																																																																																																											
必要性	4.0																																																																																																																																																																											
有効性	4.0																																																																																																																																																																											
効率性	3.0																																																																																																																																																																											
公平性	3.0																																																																																																																																																																											
<p>■ 一次評価結果</p> <p>点 数 70.点 /100点</p>		<p>■ コスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予算現額</th> <th>執行額①</th> <th>執行率</th> <th>人件費②</th> <th>補助金等③</th> <th>純コスト①②③</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,810千円</td> <td></td> <td></td> <td>1,039千円</td> <td></td> <td>1,039千円</td> </tr> </tbody> </table>		予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①②③	2,810千円			1,039千円		1,039千円																																																																																																																																																													
予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①②③																																																																																																																																																																							
2,810千円			1,039千円		1,039千円																																																																																																																																																																							
		<p>主管部局・課チェック欄 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>分野2政策2施策1</p>																																																																																																																																																																										

第6次長期総合計画政策・施策評価シート(R3年度ベース)

まちづくりの方向	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のみち
政策	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
施策	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実 ・新規介護人材の確保及び、介護サービスの質の維持・向上 ・高齢者の生きがいづくりを支援し、健康寿命の延伸 ・高齢者の社会参加の機会創出より、健康的でいきいきとした生活を送ることができるよう支援
めざす目的・成果	

二次評価(担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 介護人材確保対策事業	22千円		22千円	5	2	3	5	3.8	1
2 葬費祝事業	961千円	3,025千円	3,986千円	3	2	3	2	2.5	5
3 老人福祉活動事業	641千円	1,833千円	2,474千円	4	4	4	4	4.0	2
4 地域福祉支援事業	534千円	4,074千円	4,608千円	3	4	4	4	3.8	1
5 一般介護予防事業費	1,068千円	6,035千円	7,103千円	5	5	4	4	4.5	5
6 任意事業費	1,794千円	8,239千円	10,033千円	5	5	5	4	4.8	5
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	5,019千円	23,072千円	28,091千円	4.2	3.7	3.8	3.8	3.9	3.2

■一次評価結果

点 数  
77.5点 /100点

■コスト

予算現額	35,158千円	執行額①	23,072千円	執行率	65.6%
		人件費②	5,019千円	補助金等③	12,970千円
				純コスト④⑤⑥	15,121千円

二次評価(部局等による評価)

① 施策の必要性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	4
② 施策の有効性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	4
③ 施策の効率性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	4
④ 施策の公平性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	4

■総合評価(一次評価、二次評価の平均点)

総合評価	4.1
必要性	3.8
有効性	3.9
公平性	3.9

■実施評価結果

点 数	78.8点 /100点
達成度	54.2%

■評価のレーダーチャート

■来年度取り組みに向けた課題や所見

・新型コロナウイルス感染症の影響によって、コミュニティ活動に制限がありつつも、高齢者のフレイル対策やコミュニティ活動を通じた生きがいづくりは、必須の取組である。そうした背景において、「いばしよ」の充実化と継続化は今後もしっかりと取り組んでいく必要があるといえる。

・人生100年時代の中で、高齢者が自ら健康に生活しつつ、地域活動への参画や相互のケアの体制を構築していくことは、共助の観点からも重要である。

・一方、介護現場において、担い手の不足なども想定されるため、一層の事業所への周知や、現状の社会に即した制度運用の見直しや拡充を推進していく。

主 管 部 局 ・ 課 チェ ッ ク 欄

分野2政策2施策2

第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)

まちづくりの方向	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
政策	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
施策	障がい者の自立と社会参加の支援
めざす目的・成果	・障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する。 ・重度心身障害者（児）の行動範囲の拡大と社会参加促進、及び経済的負担の軽減を図る。

一次評価 (担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 障害者等地域生活支援事業	2,990千円	25,263千円	28,253千円	5	4	4	3	4.0	5
2 重度心身障害者等タクシー利用料金助成事業	1,068千円	572千円	1,640千円	4	3	4	3	3.5	5
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	4,058千円	7,947千円	12,005千円	4.5	3.5	4.0	3.0	3.8	5.0

■一次評価結果  
点数 75.0点 /100点

■コスト	予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①②③
	30,266千円	7,947千円	26.3%	4,058千円	7,947千円	4,058千円

二次評価 (部局等による評価)

① 施策の必要性	1 低い 2 低い 3 低い 4 高い 5 高い	5段階評価 1~5	4
② 施策の有効性	1 低い 2 低い 3 高い 4 高い 5 高い	5段階評価 1~5	4
③ 施策の効率性	1 低い 2 低い 3 高い 4 高い 5 高い	5段階評価 1~5	4
④ 施策の公平性	1 低い 2 低い 3 高い 4 高い 5 高い	5段階評価 1~5	3

■総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)

必要性	4.3
有効性	3.8
効率性	4.0
公平性	3.0
達成度	100.0%

■ 評価の結果  
75.0点 /100点

■ 評価のレーダーチャート

■ 来年度取り組みに向けた課題や所見

- ・障がいのある方の相談窓口や自立支援は、「誰一人取り残さない」理念において、非常に重要な施策である。
- ・今般の取組として、基幹相談支援センターを設置による相談窓口の周知や地域の相談機能の強化や、東部圏域において地域生活支援拠点の整備など、相談体制の整備を実施している点は評価に値する。
- ・福祉タクシーについては県の助成対象とならない聴覚・内部障害1・2級手帳所持者についても対象としている点や、利用者および利用回数も増加しており、市単独助成額が多くなっている現状はあるが、障がいのある方への充実した制度の運用は、施策として重要であると考えられる。
- ・その上で、自立支援につながる取組や地域参画への支援といった内容についても今後は検討を実施していく。

主管部局・課チェック欄

分野2政策2施策3

### ③ はつらつとして暮らせるまちづくり

#### ■政策評価結果

各施策の評価を基に、「はつらつとして暮らせるまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均3.3（5点満点）となり、100点満点換算では93.6点でした。また、一方で成果目標による達成度は53.8%となりました。

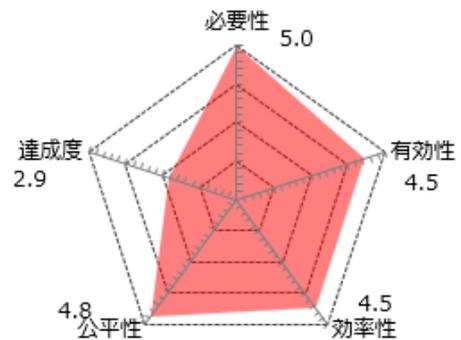
プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 235,907 千円、人件費 6,410 千円、そして歳入として補助金等 6,903 千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては235,414 千円となりました。

■政策評価										
施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費 (千円)	人件費 (千円)	補助金等 (千円)	純コスト (千円)	達成度	
ライフステージに応じた健康づくり	5.0	4.1	4.8	4.8	70,353	745	3,880	67,218	1.8	
地域医療体制の充実	5.0	4.8	4.2	4.8	165,554	5,665	3,023	168,196	4.2	
平均・合計	5.0	4.5	4.5	4.8	235,907	6,410	6,903	235,414	3.0	
総合評価					必要性	有効性	効率性	公平性	平均	100点換算
					5.0	4.5	4.5	4.8	4.7	93.6点
■政策成果目標達成度										
項目	現況値	目標	達成度	達成度 算出	達成度					
健康ジム年間来館者数	14,962	33,946	2.8	44.1	2.8					
各種健康教育・相談機会の増加	24	35	3.7	68.6	3.7					
各種がん検診平均受診率	10.8	18	3.4	60.0	3.4					
住民一人当たりの医師・歯科医師・薬剤師の人数	0.3	0.5	3.4	60.0	3.4					
平均・合計			3.3			達成度	達成度による進捗度			
						3.2	53.8%			

#### ■レーダーチャート

レーダーチャートの評価得点は達成度が最も低い結果となっています。これについては新型コロナウイルス感染症の影響により、各種相談会など、健康づくりに取り掛かるきっかけづくりという部分が十分に実施できず、成果の向上が見られなかったことによるものと考えられます。

しかしながら、感染症対策を実施した上で、今後も引き続き、医療体制の整備等、各ライフステージにおける健康維持と安心の体制づくりを達成していくことが重要です。



■ 施策評価結果

二次評価 (部局等による評価)

■ 総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)

施策評価	
必要性	5.0
有効性	4.1
効率性	4.8
公平性	4.8
平均点	4.8

■ 施策評価結果

点 数 93.1点 /100点

達成度 18.8%

■ 評価のレーダーチャート

第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)

まちづくりの方向	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
政策	はつらつとして暮らせるまちづくり
施策	★ライフステージに応じた健康づくり
めざす目的・成果	・市民一人一人が生活習慣の改善が図れるよう健康教育を通して支援 ・個人の健康意識の向上と健康の保持増進を図るため健康診査を実施する機会の提供 ・健康ジムの利用者を増やし、健康増進や介護予防を推進 等

一次評価 (担当課による評価)

■ 施策を構成する予算事業と評価

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 健康教育・相談事業		3,706千円	3,706千円	5	3	4	4	4.0	4
2 健康診査事業		12,551千円	12,551千円	5	5	5	5	5.0	1
3 がん検診事業		27,167千円	27,167千円	5	4	5	5	4.8	1
4 健康ジム管理運営事業	745千円	26,931千円	27,676千円	5	5	4	4	4.5	1
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	745千円	70,359千円	71,099千円	5.0	4.3	4.5	4.5	4.6	1.8

■ 一次評価結果

点 数 91.3点 /100点

■ コスト

予算現額	94,286千円	執行額①	70,353千円	執行率	74.6%
人件費②	745千円	補助金等③	3,880千円	純コスト①②③	67,218千円

■ 来年度取り組みに向けた課題や所見

- ・新型コロナウイルス感染症の影響下、各健診の完全予約制への切り替えを行い、コロナ対策面だけでなく、業務効率化の側面も充実している点は評価に値する。
- ・また、コロナ禍においても感染対策を講じての相談体制を構築しており、今後も状況を肩ながら事業を継続していく。
- ・併せて、健康ポイント手帳のアプリ化等、電子化が可能な部分については関係部局との連携を図っていく。
- ・健康ジムについては、コロナ禍中での運営の難しさがあるものの、個人の免疫力の向上やフレイル対策は、社会的に一層重要となっているため、人生100年時代を目指す住民の健康への意識と行動の向上に関わる取組を推進していく。
- ・さらに、小中学校などとの連携を通じて、健康ジムとしての機能だけでなく、スポーツを通じた多世代交流拠点としての機能も今後は充実化を図っていくことが重要と考える。

主管部局・課チェック欄

分野2政策3施策1

第6次長期総合計画政策・施策評価シート(R3年度ベース)

まちづくり の方向	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
政策	はつらつとして暮らせるまちづくり
施策	地域医療体制の充実
めざす 目的・成果	夜間や休日・祝日の診療体制の充実を図り、いつでも身近な場所で適切な医療サービスが受けられ、また、医療機関と連携して在宅医療の充実を図るよう、体制整備に努めます。さらに、健康科学大学看護学部と連携し、市内の看護師不足の解消を図ります。

一次評価(担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 保健衛生業務経費	3,204千円	33,423千円	36,627千円	5	3	3	3	3.5	5
2 予防接種事業		60,900千円	60,900千円	5	5	5	5	5.0	4
3 感染症予防事業		101千円	101千円	5	5	5	5	5.0	2
4 公営企業会計システム(市立病院整備事業)	326千円	6,120千円	6,446千円	5	5	5	5	5.0	5
5 老健施設管理事業	2,136千円	64,761千円	66,897千円	5	5	4	5	4.8	5
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	5,665千円	165,554千円	171,219千円	5.0	4.6	4.4	4.4	4.7	4.2

■一次評価結果  
点 数 /100点  
**93.点**

■コスト

予算現額	205,370千円	執行額①	165,554千円	執行率	80.6%
人件費②	5,665千円	補助金等③	3,023千円	純コスト①②③	169,196千円

二次評価(部局等による評価)

① 施策の必要性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	5
② 施策の有効性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5
政策への貢献度や効果の検証	5
③ 施策の効率性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5
費用対効果、事業規模などを総合的に判断	4
④ 施策の公平性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5
受益者が限定されていないか負担は適当か総合的に判断	5

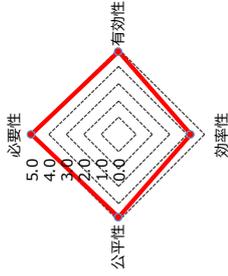
■総合評価(一次評価、二次評価の平均点)

必要性	5.0
有効性	4.8
効率性	4.2
公平性	4.8

■実施評価結果

点 数	94.点 /100点
達成度	80.0%

■評価のレーダーチャート



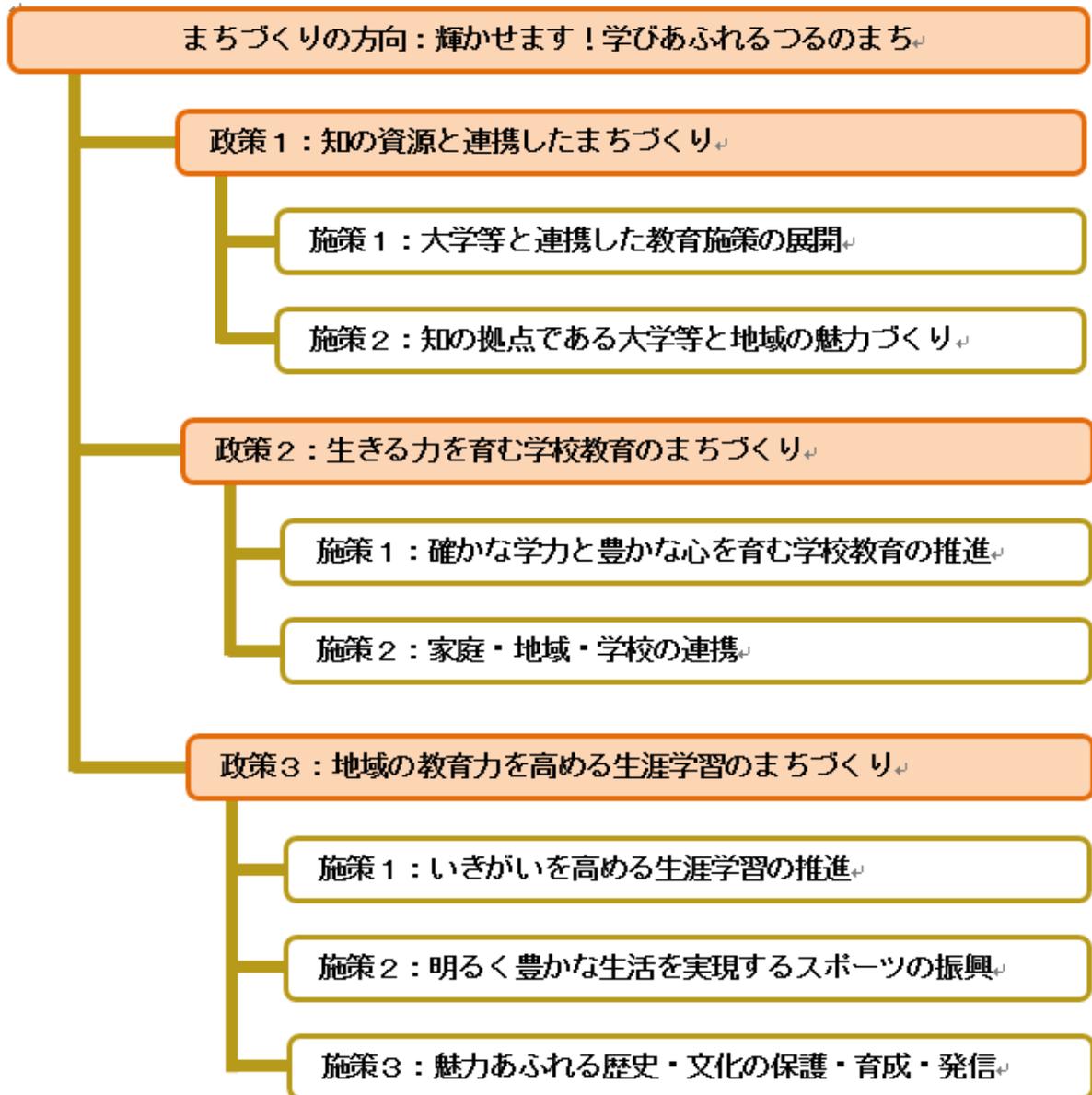
■ 来年度取り組みに向けた課題や所見

- ・新型コロナウイルス感染症の影響下、地域医療体制の充実化は特に注力する点があったことと思う。感染対策は今後も社会的な状況を踏まえながら実施していく
- ・風疹やHPV等、再開するワクチンなどもあるため、厚労省の通達などを踏まえながら、各種ワクチンの利用率を拡充していく。
- ・また、病院・老健施設の老朽化の課題については、市の公共施設の管理状況と照合しながら、計画的な改修や施設のあり方について検討を図っていくことも重要であると考える。

主管部局・課チェック欄

分野2政策3施策2

### (3) 教育分野



#### ① 知の資源と連携したまちづくり

##### ■政策評価結果

各施策の評価を基に、「知の資源と連携したまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均 5.0（5点満点）となり、100点満点換算では100点でした。また、一方で成果目標による達成度は50.0%となりました。

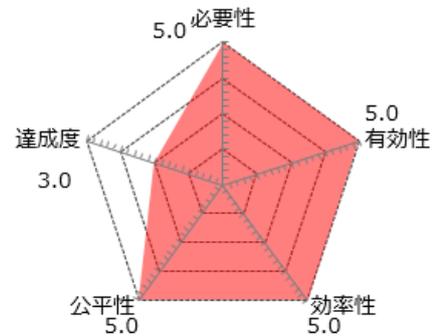
プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費1,583,746千円、人件費1,068千円、そして歳入として補助金等314,114千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては1,270,700千円となりました。

■政策評価										
施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費 (千円)	人件費 (千円)	補助金等 (千円)	純コスト (千円)	達成度	
知の拠点である大学等と地域の魅力づくり	5.0	5.0	5.0	5.0	1,583,746	1,068	314,114	1,270,700	1.0	
平均・合計	5.0	5.0	5.0	5.0	1,583,746	1,068	314,114	1,270,700	1.0	
総合評価					必要性	有効性	効率性	公平性	平均	100点換算
					5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	100.0点
■政策成果目標達成度										
項目	現況値	目標	達成度	達成度 算出	達成度	達成度				
学生アシスタントティーチャー配置人数	511	400	5.0	127.8	5.0	達成度		達成度による進捗度		
平均・合計			5.0			3.0		50.0%		

■レーダーチャート

この項目についても達成度の低さが目立ちますが、政策を構成する取組のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により、都留文科大学の業務実績評価において、前年を上回る評価とならなかったことから、この結果となりました。

また、現在、大学との連携に関する事務事業が特に実施されていないことから、今後は評価・検証のできる取組を実施し、政策の実現に向けた手法を実施していく必要があります。



■ 施策評価結果

二次評価（部局等による評価）

まちづくりの方向	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
政策	知の資源と連携したまちづくり
施策	★知の拠点である大学等と地域の魅力づくり ・公立大学法人都留文科大学の運営に支障がないように財源措置する。
めざす目的・成果	

一次評価（担当課による評価）

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 公立大学法人都留文科大学関 係費	1,068千円	1,583,746千円	1,584,814千円	5	5	5	5	5.0	1
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	1,068千円	1,583,746千円	1,584,814千円	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	1.0

■ 一次評価結果  
点 数  
100. 点 /100点

■ コスト

予算残額	2,982,994千円	執行額①	1,583,746千円	執行率	53.1%
人件費②	1,068千円	補助金等③	314,114千円	純コスト①+②-③	1,270,700千円

① 施策の必要性 施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5
② 施策の有効性 政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5
③ 施策の効率性 費用対効果、事業規模などを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5
④ 施策の公平性 受益者が限定されていないか負担は適当かを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5

■ 総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

総合評価	5.0
必要性	5.0
有効性	5.0
公平性	5.0

■ 達成度  
100. 点 /100点

■ 評価のレーダーチャート

■ 来年度取り組みに向けた課題や所見

・都留文科大学の各施設の改修については、基金計画との調整の元、1号館の改修等も含め、適切に実施していく。

・令和3年度の新棟改修及び令和4年度の新棟2期工事、生涯活躍のまちの交流施設との兼ね合い等、大学施設が単なる教室棟としての位置づけだけでなく、大学生と市民の交流を醸成する場としての活用も期待されている。また、地方創生関連交付金の活用にあたって、デジタル活用や探究型学習への活用といった、「教育首都つる」のさらなるステップアップにつながる施設としての効果も期待されている。大学の地域貢献については、ハード面だけでなく、市民講座や小学生と小中学校の連携など、ソフト面についても重要であるため、運営費交付金の活用にあたっては、大学内部にとどまらない地域にも学びが還元されるような活用を推進していく必要がある。

・また、運営費交付金の活用にあたって、企画課・財務課・大学各課が連携し、また相談体制を構築いただきたきながら、適切に大学経営が行われるよう、情報共有を図っていく。

主管部局・課チェック欄

分野3政策 施策1 施策2

## ② 生きる力を育む学校教育のまちづくり

### ■政策評価結果

各施策の評価を基に、「生きる力を育む学校教育のまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均4.4（5点満点）となり、100点満点換算では88.8点でした。また、一方で成果目標による達成度は75.0%となりました。

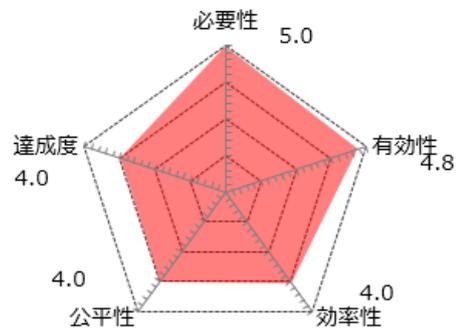
プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 468,885 千円、人件費 21,718 千円、そして歳入として補助金等 27,780 千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては462,733 千円となりました。

■政策評価									
施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費 (千円)	人件費 (千円)	補助金等 (千円)	純コスト (千円)	達成度
確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進	5.0	4.8	4.0	4.0	468,885	21,718	27,870	462,733	3.0
平均・合計	5.0	4.8	4.0	4.0	468,885	21,718	27,870	462,733	3.0
総合評価					必要性	有効性	効率性	公平性	平均
					5.0	4.8	4.0	4.0	4.4
									100点換算
									88.8点
■政策成果目標達成度									
項目	現況値	目標	達成度	達成度 算出	達成度				
英検(5級以上)合格者数	145	100	5.0	145.0	5.0				
市内学校運営協議会設置数	1	1	5.0	100.0	5.0				
平均・合計			5.0			達成度	達成度による進捗度		
						4.0	75.0%		

### ■レーダーチャート

全体的にバランスよく得点できています。なお今後の教育環境の整備と普及という意味において、アクティブラーニングや探求型学習といった数値的評価では判断できない取組についても、次世代の市民の育成という観点から何らかの指標を設定していく必要があるといえます。

また、学校運営協議会の設置については、学校と地域が適切に連携しつつ、学校の業務負担軽減や支援体制の構築といった実効性のある組織作りにつながる取組として実施していくことが必要です。



■ 施策評価結果

第6次長期総合計画政策・施策評価シート(R3年度ベース)		二次評価 (部局等による評価)																																																																																																																																																				
まちづくりの方向	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち	① 施策の必要性																																																																																																																																																				
政策	生きる力を育む学校教育のまちづくり	<table border="1"> <tr> <td>施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断</td> <td>1 2 3 4 5</td> </tr> <tr> <td>低い</td> <td>1 2 3 4 5</td> </tr> <tr> <td>5段階評価</td> <td>1 2 3 4 5</td> </tr> </table>		施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5	低い	1 2 3 4 5	5段階評価	1 2 3 4 5																																																																																																																																													
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5																																																																																																																																																					
低い	1 2 3 4 5																																																																																																																																																					
5段階評価	1 2 3 4 5																																																																																																																																																					
施策	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進 ・「情報活用の実践力」「情報の科学的理解」「情報社会に参画する態度」を3つの柱とし、溢れる情報の中から必要な情報を主体的に選択・活用できる力を身につける。 ・新学習指導要領に沿った児童・生徒の「生きる力」を育む。	② 施策の有効性																																																																																																																																																				
めざす目的・成果		<table border="1"> <tr> <td>政策への貢献度や効果の検証</td> <td>1 2 3 4 5</td> </tr> <tr> <td>低い</td> <td>1 2 3 4 5</td> </tr> <tr> <td>5段階評価</td> <td>1 2 3 4 5</td> </tr> </table>		政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5	低い	1 2 3 4 5	5段階評価	1 2 3 4 5																																																																																																																																													
政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5																																																																																																																																																					
低い	1 2 3 4 5																																																																																																																																																					
5段階評価	1 2 3 4 5																																																																																																																																																					
		③ 施策の効率性																																																																																																																																																				
		<table border="1"> <tr> <td>費用対効果、事業規模などを総合的に判断</td> <td>1 2 3 4 5</td> </tr> <tr> <td>低い</td> <td>1 2 3 4 5</td> </tr> <tr> <td>5段階評価</td> <td>1 2 3 4 5</td> </tr> </table>		費用対効果、事業規模などを総合的に判断	1 2 3 4 5	低い	1 2 3 4 5	5段階評価	1 2 3 4 5																																																																																																																																													
費用対効果、事業規模などを総合的に判断	1 2 3 4 5																																																																																																																																																					
低い	1 2 3 4 5																																																																																																																																																					
5段階評価	1 2 3 4 5																																																																																																																																																					
		④ 施策の公平性																																																																																																																																																				
		<table border="1"> <tr> <td>受益者が限定されいないか負担は適当か総合的に判断</td> <td>1 2 3 4 5</td> </tr> <tr> <td>低い</td> <td>1 2 3 4 5</td> </tr> <tr> <td>5段階評価</td> <td>1 2 3 4 5</td> </tr> </table>		受益者が限定されいないか負担は適当か総合的に判断	1 2 3 4 5	低い	1 2 3 4 5	5段階評価	1 2 3 4 5																																																																																																																																													
受益者が限定されいないか負担は適当か総合的に判断	1 2 3 4 5																																																																																																																																																					
低い	1 2 3 4 5																																																																																																																																																					
5段階評価	1 2 3 4 5																																																																																																																																																					
		<table border="1"> <tr> <td>総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)</td> <td>必要性</td> <td>効率性</td> <td>公平性</td> </tr> <tr> <td>5.0</td> <td>4.8</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> </tr> </table>		総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)	必要性	効率性	公平性	5.0	4.8	4.0	4.0																																																																																																																																											
総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)	必要性	効率性	公平性																																																																																																																																																			
5.0	4.8	4.0	4.0																																																																																																																																																			
		<table border="1"> <tr> <td>達成度</td> </tr> <tr> <td>50.0%</td> </tr> </table>		達成度	50.0%																																																																																																																																																	
達成度																																																																																																																																																						
50.0%																																																																																																																																																						
		<table border="1"> <tr> <td>■ 施策評価結果</td> </tr> <tr> <td>点 数</td> </tr> <tr> <td>88.8点 /100点</td> </tr> </table>		■ 施策評価結果	点 数	88.8点 /100点																																																																																																																																																
■ 施策評価結果																																																																																																																																																						
点 数																																																																																																																																																						
88.8点 /100点																																																																																																																																																						
		<p>■ 評価のレーダーチャート</p>																																																																																																																																																				
		<p>■ 来年度取り組みに向けての課題や所見</p> <p>・文部科学省によるGIGAスクール構想が提言される中で、1人1台端末の整備を達成したことは評価に値する。小中学生のプログラミング教育やICT活用はこれからの社会において必須の学びであるため、デジタル教科書やその他教材について、学校要望も踏まえながら、きめ細やかな整備を推進していく。また、実際の効果検証等を行い、現状の予算に見合った費用対効果が得られているか、チェックが必要であると思</p> <p>う。</p> <p>・また、新型コロナウイルス感染症の影響において学校現場の安全・安心のための対応はハードルの高いところもあつたと思う。こうした面からもデジタル端末の家庭での活用は重要となるが、貸し出しのルールや各家庭におけるWi-Fi整備などの格差によって、対応の難しさがあると思料する。教育格差をいかに解消していくかという観点では、SDGsの方針からも重要といえる。可能な限り、こうした課題を解消できるよう検討の上、実施していく。</p> <p>・学校施設の改修や納廃、給食施設の適正化など、本市の教育環境は、現状からの変化のターゲットポイントにあると思う。施設や人員の整理、給食センターの外部委託の検討等、市にとって適正な教育環境について、さらなる検討を進めていく。</p>																																																																																																																																																				
		<table border="1"> <tr> <td>主管部局・課チェック欄</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table>		主管部局・課チェック欄	<input checked="" type="checkbox"/>																																																																																																																																																	
主管部局・課チェック欄	<input checked="" type="checkbox"/>																																																																																																																																																					
		分野3政策2施策1																																																																																																																																																				
<p>■ 施策を構成する予算事業と評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>人件費</th> <th>事業費</th> <th>総計</th> <th>必要性</th> <th>効率性</th> <th>公平性</th> <th>平均</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 学校教育事業</td> <td>2,563千円</td> <td>54,586千円</td> <td>57,149千円</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4.3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2 教育研修センター事業</td> <td>641千円</td> <td>1,136千円</td> <td>1,777千円</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4.3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>3 障害児教育事業</td> <td>855千円</td> <td>506千円</td> <td>1,361千円</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5.0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4 教育課程特例校推進事業</td> <td>321千円</td> <td>5,367千円</td> <td>5,688千円</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>4.3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>5 学力向上フオロアップ事業</td> <td>428千円</td> <td>290千円</td> <td>718千円</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4.3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>6 学校運営協議会設置推進事業</td> <td>428千円</td> <td>90千円</td> <td>518千円</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3.8</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>7 小学校管理事業 (学校教育課分)</td> <td>855千円</td> <td>85,211千円</td> <td>86,066千円</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4.5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>8 中学校管理事業 (学校教育課分)</td> <td>641千円</td> <td>63,106千円</td> <td>63,747千円</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4.5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>9 教員住宅管理事業</td> <td>107千円</td> <td>626千円</td> <td>733千円</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4.3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>10 適応指導教室事業</td> <td>107千円</td> <td>942千円</td> <td>1,049千円</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4.5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>11 ICT環境整備事業</td> <td>4,271千円</td> <td>120,016千円</td> <td>124,287千円</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5.0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>12 学校給食運営事業</td> <td>10,507千円</td> <td>75,232千円</td> <td>85,739千円</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>4.3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>13 学校給食委託事業</td> <td>61,789千円</td> <td>61,789千円</td> <td>61,789千円</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>4.3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計・平均</td> <td>21,718千円</td> <td>468,885千円</td> <td>490,603千円</td> <td>4.9</td> <td>4.5</td> <td>4.1</td> <td>4.0</td> <td>4.4</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	人件費	事業費	総計	必要性	効率性	公平性	平均	達成度	1 学校教育事業	2,563千円	54,586千円	57,149千円	5	5	4	4.3	3	2 教育研修センター事業	641千円	1,136千円	1,777千円	5	4	4	4.3	5	3 障害児教育事業	855千円	506千円	1,361千円	5	5	5	5.0	5	4 教育課程特例校推進事業	321千円	5,367千円	5,688千円	5	5	3	4.3	5	5 学力向上フオロアップ事業	428千円	290千円	718千円	5	4	5	4.3	1	6 学校運営協議会設置推進事業	428千円	90千円	518千円	4	4	4	3.8	1	7 小学校管理事業 (学校教育課分)	855千円	85,211千円	86,066千円	5	4	4	4.5	1	8 中学校管理事業 (学校教育課分)	641千円	63,106千円	63,747千円	5	4	4	4.5	1	9 教員住宅管理事業	107千円	626千円	733千円	5	4	5	4.3	5	10 適応指導教室事業	107千円	942千円	1,049千円	5	5	4	4.5	5	11 ICT環境整備事業	4,271千円	120,016千円	124,287千円	5	5	5	5.0	5	12 学校給食運営事業	10,507千円	75,232千円	85,739千円	5	5	3	4.3	1	13 学校給食委託事業	61,789千円	61,789千円	61,789千円	5	5	3	4.3	1	14									合計・平均	21,718千円	468,885千円	490,603千円	4.9	4.5	4.1	4.0	4.4	<table border="1"> <tr> <td>■ 一次評価結果</td> </tr> <tr> <td>点 数</td> </tr> <tr> <td>87.7点 /100点</td> </tr> </table>		■ 一次評価結果	点 数	87.7点 /100点
事業名	人件費	事業費	総計	必要性	効率性	公平性	平均	達成度																																																																																																																																														
1 学校教育事業	2,563千円	54,586千円	57,149千円	5	5	4	4.3	3																																																																																																																																														
2 教育研修センター事業	641千円	1,136千円	1,777千円	5	4	4	4.3	5																																																																																																																																														
3 障害児教育事業	855千円	506千円	1,361千円	5	5	5	5.0	5																																																																																																																																														
4 教育課程特例校推進事業	321千円	5,367千円	5,688千円	5	5	3	4.3	5																																																																																																																																														
5 学力向上フオロアップ事業	428千円	290千円	718千円	5	4	5	4.3	1																																																																																																																																														
6 学校運営協議会設置推進事業	428千円	90千円	518千円	4	4	4	3.8	1																																																																																																																																														
7 小学校管理事業 (学校教育課分)	855千円	85,211千円	86,066千円	5	4	4	4.5	1																																																																																																																																														
8 中学校管理事業 (学校教育課分)	641千円	63,106千円	63,747千円	5	4	4	4.5	1																																																																																																																																														
9 教員住宅管理事業	107千円	626千円	733千円	5	4	5	4.3	5																																																																																																																																														
10 適応指導教室事業	107千円	942千円	1,049千円	5	5	4	4.5	5																																																																																																																																														
11 ICT環境整備事業	4,271千円	120,016千円	124,287千円	5	5	5	5.0	5																																																																																																																																														
12 学校給食運営事業	10,507千円	75,232千円	85,739千円	5	5	3	4.3	1																																																																																																																																														
13 学校給食委託事業	61,789千円	61,789千円	61,789千円	5	5	3	4.3	1																																																																																																																																														
14																																																																																																																																																						
合計・平均	21,718千円	468,885千円	490,603千円	4.9	4.5	4.1	4.0	4.4																																																																																																																																														
■ 一次評価結果																																																																																																																																																						
点 数																																																																																																																																																						
87.7点 /100点																																																																																																																																																						
<table border="1"> <tr> <td>■ コスト</td> </tr> <tr> <td>予算現額</td> <td>515,020千円</td> <td>執行額①</td> <td>468,885千円</td> <td>執行率</td> <td>91.0%</td> </tr> <tr> <td>人件費②</td> <td>21,718千円</td> <td>補助金等③</td> <td>27,870千円</td> <td>純コスト①②③</td> <td>462,733千円</td> </tr> </table>		■ コスト	予算現額	515,020千円	執行額①	468,885千円	執行率	91.0%	人件費②	21,718千円	補助金等③	27,870千円	純コスト①②③	462,733千円																																																																																																																																								
■ コスト																																																																																																																																																						
予算現額	515,020千円	執行額①	468,885千円	執行率	91.0%																																																																																																																																																	
人件費②	21,718千円	補助金等③	27,870千円	純コスト①②③	462,733千円																																																																																																																																																	

### ③ 地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり

#### ■政策評価結果

各施策の評価を基に、「地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均2.8（5点満点）となり、100点満点換算では84.8点でした。また、一方で成果目標による達成度は29.8%となりました。

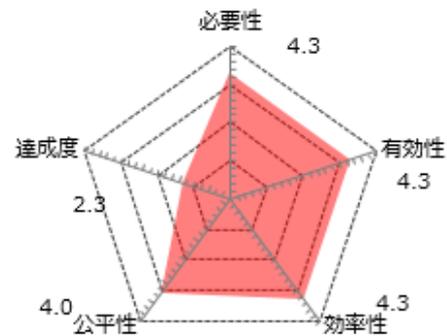
プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費239,861千円、人件費61,317千円、そして歳入として補助金等56,594千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては244,584千円となりました。

■政策評価										
施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費 (千円)	人件費 (千円)	補助金等 (千円)	純コスト (千円)	達成度	
いきがいを高める生涯学習の推進	4.8	4.2	4.9	4.2	103,604	19,705	2,024	121,285	1.0	
明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興	4.1	3.9	3.9	4.0	101,210	10,458	38,492	73,176	1.3	
魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信	4.1	4.8	4.1	3.9	35,047	31,154	16,078	50,123	2.5	
平均・合計	4.3	4.3	4.3	4.0	239,861	61,317	56,594	244,584	1.6	
総合評価					必要性	有効性	効率性	公平性	平均	100点換算
					4.3	4.3	4.3	4.0	4.2	84.8点
■政策成果目標達成度										
項目	現況値	目標	達成度	達成度 算出	達成度					
まちづくり交流センター施設利用率	41.0	54.6	4.0	75.1	4.0					
うぐいすホール施設利用率	45	73.2	3.5	62.0	3.5					
スポーツ教室等参加者充足率	4.5	95	1.2	4.7	1.2					
歴史文化施設入館者数	6,306	17,108	2.5	36.9	2.5					
平均・合計				2.8			達成度	達成度による進捗度		
							2.2	29.8%		

#### ■レーダーチャート

新型コロナウイルス感染症の影響があり、各種施設利用やイベントへの集客において達成度の低さが目立ちます。

また、いきがいの創出や文化の保護・発信については、参加者数を始めとした定量的な数値では測れない部分があるため、実際にいかに市民に生きがいの創出がなされているか、地域の文化がいかに保全され、発信できているか、定量評価以外の指標についても検討が必要といえます。



■施策評価結果

二次評価（部局等による評価）

まちづくりの方向	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
政策	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
施策	★いきがいを高める生涯学習の推進 ・市民への上質な芸術文化を鑑賞する機会の提供。また、市民自らが創造する参加型イベントを実施し、芸術文化の振興を図るほか、独自の事業を展開し、都留市をPRする。 ・市民の文化意識の向上を図る。等
めざす目的・成果	

一次評価（担当課による評価）

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 市の壮うぐいすホール管理運営事業	1,068千円	84,418千円	85,486千円	5	4	5	5	4.8	1
2 市の壮うぐいすホール事業費補助事業	107千円	588千円	695千円	4	4	5	4	4.3	1
3 はつらつ鶴寿大学事業	2,059千円	209千円	2,268千円	4	4	4	3	3.8	1
4 図書館運営事業	13,527千円	18,002千円	31,559千円	5	5	5	5	5.0	1
5 子ども読書活動支援事業	2,946千円	359千円	3,305千円	5	5	5	5	5.0	1
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	19,705千円	103,604千円	123,309千円	4.6	4.4	4.8	4.4	4.6	1.0

■一次評価結果
点 数
91.点 /100点

■コスト				
予算理額	執行額①	執行率	補助金等③	純コスト①②③
107,326千円	103,604千円	96.5%	19,705千円	121,285千円

① 施策の必要性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	5
② 施策の有効性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5
政策への貢献度や効果の検証	5
③ 施策の効率性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5
費用対効果、事業規模などを総合的に判断	5
④ 施策の公平性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5
受益者が限定されいないか負担は適当か総合的に判断	4

■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

必要性	4.8
有効性	4.2
効率性	4.9
公平性	4.2

■施策評価結果

点 数	90.5点 /100点
達成度	

■評価のレーダーチャート

■来年度取り組みに向けた課題や所見

・新型コロナウイルス感染症の中で、各生涯学習施設は利用率の減少や来館者への感染対策等、きめ細やかな対応が必要となった。「教育首都つる」において市民の学びの場の確保は必須であるため、今後もソフメニューの充実化を図っていく。  
・また、図書館の運営にあたっては年間の利用状況やニーズ把握を行い、図書の実態化を図ることや、これまで図書館で実施していた宝狐山疎開に関する調査や床屋文庫の歴史的な研究発表等、図書を通じた都留市の姿を伝播する取組等、受動ではなく能動的な活動の実施等、風通しのある「生涯学習施設」としての機能向上を推進していく。

主管部局・課チェック欄

分野3政策3施策1

第6次長期総合計画政策・施策評価シート(R3年度ベース)

まちづくりの方向	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
政策	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
施策	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
めざす目的・成果	・市民がいつでも自分のスタイルでスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ環境の創出 ・スポーツ推進計画に基づいた市民スポーツの振興及び地域の活性化 ・球場使用者の安全・快適な利用、体育館使用者の安全・快適な利用 等

一次評価（担当課による評価）

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 体育スポーツ振興事業	1,703千円	4,310千円	6,013千円	4	3	3	5	3.8	3
2 体育スポーツ奨励事業	1,587千円	5,878千円	7,465千円	5	5	4	4	4.5	1
3 野球場管理運営事業	1,327千円	2,906千円	4,233千円	4	4	4	4	4.0	1
4 体育館管理運営事業	1,489千円	13,582千円	15,071千円	4	4	4	4	4.0	1
5 各体育施設管理運営事業	2,386千円	28,062千円	31,448千円	4	4	4	4	4.0	1
6 やまびこ競技場管理運営事業	1,276千円	45,055千円	46,331千円	4	4	4	4	4.0	1
7 東京オリンピックピック・パラリンピック関係事業	693千円	420千円	1,113千円	4	3	3	3	3.3	1
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	10,458千円	101,210千円	111,668千円	4.1	3.9	3.7	4.0	3.9	1.3

一次評価結果

点 数	78.6点 /100点
-----	-------------

コスト

予算総額	101,210千円	執行率	88.2%
人件費②	10,458千円	補助金等③	38,492千円
純コスト①②③	73,176千円		

二次評価（部局等による評価）

① 施策の必要性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5	4
② 施策の有効性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5	4
③ 施策の効率性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5	4
④ 施策の公平性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5	4

■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

必要性	4.1
有効性	3.9
効率性	3.9
公平性	4.0

■達成度 7.1%

■施策評価結果  
点 数 79.3点 /100点

■評価のレーダーチャート

来年度取り組みに向けた課題や所見

■新型コロナウイルス感染症の影響下において各種イベントが中止となった状況であった。

- ・地域活性化企業人を活用した新たなプログラムの検討やアプリを活用したスポーツ推進の取組など、これまでになかった体制を構築している点は評価に値する。今後も、健康ジムやスポーツ塾、その他、市民のフレイル対策や健康増進、コミュニティ醸成等、多岐にわたる分野において、企業の専門性を反映した事業運営に取り組んでいく。
- ・各施設については学校施設と同様、長寿命化やLED化等、時代に即した改修等の対応が求められるため、必要性なども考慮しながら、計画的な改修や平準化を推進していく。
- ・感染症の影響において中止となっているハーフマラソン事業については、社会的な状況を見ながら実施する。

主管部局・課チェック欄	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------	-------------------------------------

分野3政策3施策2

第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)

まちづくりの方向	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
政策	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
施策	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信 ・芸術文化の振興 ・市内にある文化遺産の保護・継承 ・博物館資料の調査研究を行い、市民の学術文化の向上に役立てる 等

一次評価 (担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 増田誠大賞公募展開催事業	2,127千円	181千円	2,308千円	3	4	4	4	3.8	5
2 芭蕉の里づくり事業	3,055千円	2,149千円	5,204千円	3	5	4	4	4.0	5
3 文化財保護事業	5,186千円	9,805千円	14,991千円	5	5	5	5	5.0	1
4 尾県郷土資料館運営事業	1,328千円	2,544千円	3,872千円	5	5	5	5	5.0	1
5 商家資料館運営事業	1,007千円	1,895千円	2,902千円	5	3	3	4	3.8	1
6 八朔屋台展示席事業	214千円	1,809千円	2,023千円	4	5	4	2	3.8	5
7 ミュージアム都留管理運営事業	7,842千円	14,609千円	22,450千円	5	5	4	5	4.8	1
8 ミュージアム都留企画展等開催事業	10,399千円	2,069千円	12,468千円	4	5	4	2	3.8	1
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	31,154千円	35,047千円	66,201千円	4.3	4.6	4.1	3.9	4.2	2.5

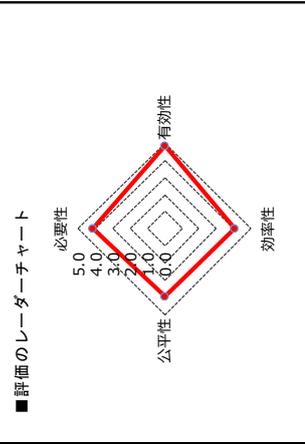
■一次評価結果  
点 数  
84.4点 /100点

■コスト	予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①②③
	39,379千円	35,047千円	89.0%	31,154千円	16,078千円	50,123千円

二次評価 (部局等による評価)

① 施策の必要性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	4
② 施策の有効性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	5
③ 施策の効率性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	4
④ 施策の公平性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	4

■総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)	必要性	4.1	有効性	4.1	公平性	3.9
■施策評価結果	点 数	84.7点 /100点		達成度	37.5%	



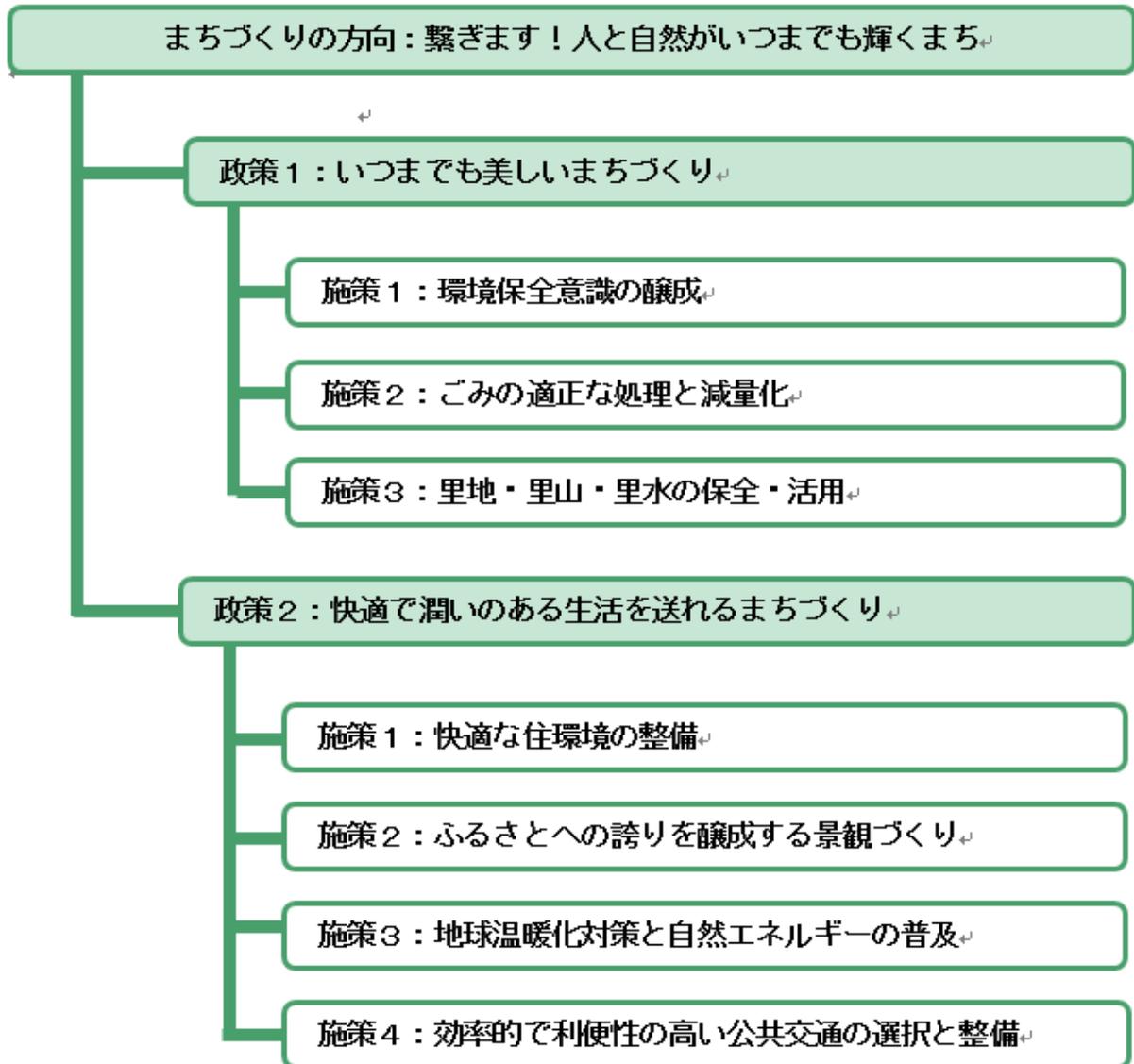
■ 来年度取り組みに向けた課題や所見  
・ 新型コロナウイルス感染症の影響の中で、各施設の集客や、各施設を活用した住民の地域活動の難しさがあつた。  
・ 博物館においては刀剣や将棋の駒など、これまでにない展示を実施し、SNS等により地域外の関心は高まった。反面、これまで都留文科大学生や郷土研究会等の地域活動に関わる住民との関わりは弱くなつている部分があるため、こだわりのある展示も重要だが、新型コロナウイルス感染症によるコミュニティの弱体化がこれからの課題であるため、市内の歴史を通じた「学び」や地域活動の醸成に取り組んでいく。  
・ 尾県郷土資料館の運営については、協会の取組の元、資料館祭りやその他メニューを通じて生かすことがいづくりの創出につながっている。新型コロナウイルス感染症の中で取組が難しい部分もあると思うが、地域活性化のための取組として、きめ細やかな支援体制を構築していく。  
・ 文化財保護にあたっては文化財審議会等の市民の意見や方向性も確認しながら進めていくことが重要であると考え。

主管部局・課チェック欄

分野3政策3施策3

#### (4) 生活・環境分野

##### 体系図



#### ① いつまでも美しいまちづくり

##### ■政策評価結果

各施策の評価を基に、「いつまでも美しいまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均4.5（5点満点）となり、100点満点換算では90.0点でした。また、一方で成果目標による達成度は81.3%となりました。

プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費34,248千円、人件費3,738千円、そして歳入として補助金等25千円であり、歳入を差し引いて、純コス

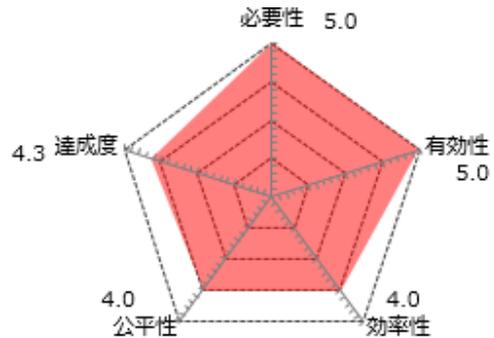
トとしては37,961千円となりました。

■政策評価											
施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費 (千円)	人件費 (千円)	補助金等 (千円)	純コスト (千円)	達成度		
ごみの適正な処理と減量化	5.0	5.0	4.0	4.0	34,248	3,738	25	37,961	5.0		
平均・合計	5.0	5.0	4.0	4.0	34,248	3,738	25	37,961	5.0		
総合評価										100点換算	
					必要性	有効性	効率性	公平性	平均	90.0点	
					5.0	5.0	4.0	4.0	4.5		
■政策成果目標達成度											
項目	現況値	目標	達成度	達成度 算出	達成度						
美化活動に参加した市民の人数	1,418	3,000	2.9	47.3	2.9						
エコ探検隊つる参加者数	27	63	2.7	42.9	2.7						
市民1人1日あたりのごみの排出量	957	925	5.0	103.5	5.0						
除塵機の設置基数	3	5	3.4	60.0	3.4						
平均・合計			3.5			達成度	達成度による進捗度				
						4.3	81.3%				

■レーダーチャート

レーダーチャートで見ると、全体がバランスよく達成されています。

成果としては各種イベントへの参加はコロナウイルス感染症の影響もあり達成できていない部分があるため、今後も手法を検討し直しながら、継続的に実施していくことが重要です。



■ 施策評価結果

第6次長期総合計画政策・施策評価シート(R3年度ベース)		二次評価(部局等による評価)						
まちづくりの方向	生活・環境分野 繁ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち	① 施策の必要性 施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断 低い 1 2 3 4 5 高い						
政策	いつまでも美しいまちづくり	② 施策の有効性 政策への貢献度や効果の検証 低い 1 2 3 4 5 高い						
施策	ごみの適正な処理と減量化	③ 施策の効率性 費用対効果、事業規模などを総合的に判断 低い 1 2 3 4 5 高い						
めざす目的・成果	ごみの減量化	④ 施策の公平性 受益者が限定されいないか負担は適当か総合的に判断 低い 1 2 3 4 5 高い						
二次評価(担当課による評価)		■ 総合評価(一次評価、二次評価の平均点) 必要性 5.0 有効性 4.0 公平性 4.0 ■ 施策評価結果 点 数 90.点 /100点 達成度 100.0%						
■ 施策を構成する予算事業と評価		■ 評価のレーダーチャート 公平性 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0 必要性 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0 有効性 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0						
事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	公平性	平均	達成度
1 清掃事業	3,738千円	34,248千円	37,986千円	5	5	4	4.5	5
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
合計・平均	3,738千円	34,248千円	37,986千円	5.0	5.0	4.0	4.5	5.0
■ 一次評価結果 点 数 90.点 /100点		■ コスト 予算現額 34,819千円 執行額① 34,248千円 執行率 98.4%		人件費② 3,738千円 補助金等③ 25千円 純コスト①②③ 37,961千円				
■ 年度取り組みに向けた課題や所見 ・ごみの適正な処理と減量化については費用対効果等も検証しながら市民への補助を行っていく。 ・富士・東部のごみ処理場の稼働を控える中で、大月都留衛生組合と連携をし、ごみの有料化、バイオマス・ハイオガスの検討などの取り組みを推進していく。		主管部局・課チェック欄 <input checked="" type="checkbox"/>		分野4政策1施策2				

## ② 快適で潤いのある生活を送れるまちづくり

### ■政策評価結果

各施策の評価を基に、「快適で潤いのある生活を送れるまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均4.2（5点満点）となり、100点満点換算では83.1点でした。また、一方で成果目標による達成度は54.9%となりました。

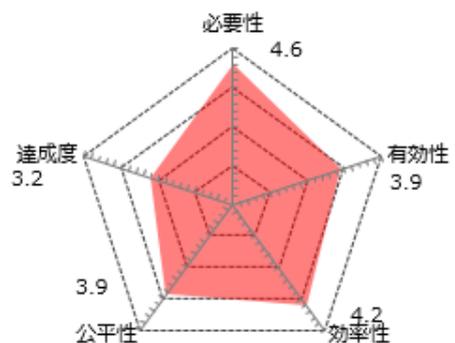
プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費92,008千円、人件費15,804千円、そして歳入として補助金等18,313千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては89,499千円となりました。

■政策評価									
施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費 (千円)	人件費 (千円)	補助金等 (千円)	純コスト (千円)	達成度
快適な住環境の整備	4.9	4.8	4.9	3.9	47,489	11,319	12,760	46,048	3.0
効率的で利便性の高い公共交通の選択と整備	5.0	4.0	4.8	4.8	16,507	3,844	93	20,258	5.0
適切で効率的な公共交通の選択と整備	4.0	3.0	3.0	3.0	28,012	641	5,460	23,193	1.0
平均・合計	4.6	3.9	4.2	3.9	92,008	15,804	18,313	89,499	3.0
総合評価					平均				
					4.2	100点換算 83.1点			
■政策成果目標達成度									
項目	現況値	目標	達成度	達成度 算出	達成度				
管理不全空家等の解決割合	81.5	85.0	4.8	95.9	4.8				
汚水処理人口普及率	52.6%	55.7	1.0	0.9	1.0				
環境教育・環境学習会実施回数	2	9	1.9	22.2	1.9				
市役所庁舎使用電力のうちの家中川小水力市民発電電力充当率	28.6	50	3.3	57.2	3.3				
住宅用太陽光発電設備の設備認定発電出力数累計	2,967.3	2,450	5.0	121.1	5.0				
デマンドタクシー利用者数	1,456	2,293	3.5	63.5	3.5				
補助対象路線（バス）利用者数	23,035	29,296	4.1	78.6	4.1				
平均・合計			3.4			達成度	達成度による進捗度		
						3.2	54.9%		

### ■レーダーチャート

数値目標の達成がほとんどの項目でできず、達成度が3.2点という結果となりました。

今後、施策を実施していく中で、成果を挙げていくことと併せて、事業内容・成果の積極的な情報提供等を実施し、満足度の高い施策を実施していくことが必要です。



■ 施策評価結果

第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)		二次評価 (部局等による評価)																																																																																																																																																																					
まちづくりの方向	生活・環境分野 繁ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち	二次評価 (部局等による評価)																																																																																																																																																																					
政策	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり	二次評価 (部局等による評価)																																																																																																																																																																					
施策	★快適な住環境の整備	二次評価 (部局等による評価)																																																																																																																																																																					
めざす目的・成果	・合併処理浄化槽を設置することにより、水質を保全する。 ・快適な住環境の保全 ・市内の空家等の適正管理、発生抑制、活用 等	二次評価 (部局等による評価)																																																																																																																																																																					
一次評価 (担当課による評価)		二次評価 (部局等による評価)																																																																																																																																																																					
<p>■ 施策を構成する予算事業と評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>人件費</th> <th>事業費</th> <th>総計</th> <th>必要性</th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> <th>公平性</th> <th>平均</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 合併処理浄化槽設置費補助事業</td> <td>4,912千円</td> <td>15,954千円</td> <td>20,866千円</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>4.5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2 環境保全対策事業</td> <td>3,204千円</td> <td>30,404千円</td> <td>33,608千円</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4.0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3 空家等対策推進事業</td> <td>2,350千円</td> <td>94千円</td> <td>2,444千円</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4.5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4 定式関係事業</td> <td>855千円</td> <td>1,038千円</td> <td>1,893千円</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4.8</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計・平均</td> <td>11,319千円</td> <td>47,489千円</td> <td>58,808千円</td> <td>4.8</td> <td>4.5</td> <td>4.8</td> <td>3.8</td> <td>4.4</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度	1 合併処理浄化槽設置費補助事業	4,912千円	15,954千円	20,866千円	5	5	5	3	4.5	1	2 環境保全対策事業	3,204千円	30,404千円	33,608千円	4	4	4	4	4.0	1	3 空家等対策推進事業	2,350千円	94千円	2,444千円	5	4	5	4	4.5	5	4 定式関係事業	855千円	1,038千円	1,893千円	5	5	5	4	4.8	5	5										6										7										8										9										10										11										12										13										14										合計・平均	11,319千円	47,489千円	58,808千円	4.8	4.5	4.8	3.8	4.4	3.0	<p>■ 一次評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>点</td> <td>数</td> </tr> <tr> <td>88.8点</td> <td>/100点</td> </tr> </table>		点	数	88.8点	/100点
事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度																																																																																																																																																														
1 合併処理浄化槽設置費補助事業	4,912千円	15,954千円	20,866千円	5	5	5	3	4.5	1																																																																																																																																																														
2 環境保全対策事業	3,204千円	30,404千円	33,608千円	4	4	4	4	4.0	1																																																																																																																																																														
3 空家等対策推進事業	2,350千円	94千円	2,444千円	5	4	5	4	4.5	5																																																																																																																																																														
4 定式関係事業	855千円	1,038千円	1,893千円	5	5	5	4	4.8	5																																																																																																																																																														
5																																																																																																																																																																							
6																																																																																																																																																																							
7																																																																																																																																																																							
8																																																																																																																																																																							
9																																																																																																																																																																							
10																																																																																																																																																																							
11																																																																																																																																																																							
12																																																																																																																																																																							
13																																																																																																																																																																							
14																																																																																																																																																																							
合計・平均	11,319千円	47,489千円	58,808千円	4.8	4.5	4.8	3.8	4.4	3.0																																																																																																																																																														
点	数																																																																																																																																																																						
88.8点	/100点																																																																																																																																																																						
<p>■ コスト</p> <table border="1"> <tr> <td>予算現額</td> <td>執行額①</td> <td>執行率</td> <td>補助金等③</td> <td>純コスト①②③</td> </tr> <tr> <td>70,720千円</td> <td>47,489千円</td> <td>67.2%</td> <td>12,760千円</td> <td>46,048千円</td> </tr> </table>		予算現額	執行額①	執行率	補助金等③	純コスト①②③	70,720千円	47,489千円	67.2%	12,760千円	46,048千円	<p>■ 総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)</p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>有効性</td> <td>効率性</td> <td>公平性</td> </tr> <tr> <td>4.9</td> <td>4.8</td> <td>4.9</td> <td>3.9</td> </tr> </table> <p>■ 施策評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>点</td> <td>数</td> </tr> <tr> <td>91.9点</td> <td>/100点</td> </tr> </table> <p>■ 評価のレーダーチャート</p> <p>達成度 50.0%</p>		必要性	有効性	効率性	公平性	4.9	4.8	4.9	3.9	点	数	91.9点	/100点																																																																																																																																														
予算現額	執行額①	執行率	補助金等③	純コスト①②③																																																																																																																																																																			
70,720千円	47,489千円	67.2%	12,760千円	46,048千円																																																																																																																																																																			
必要性	有効性	効率性	公平性																																																																																																																																																																				
4.9	4.8	4.9	3.9																																																																																																																																																																				
点	数																																																																																																																																																																						
91.9点	/100点																																																																																																																																																																						
<p>■ 来年度取り組みに向けた課題や所見</p> <p>・家中川の環境保全に当たり新たな除塵機の設置を行い、ごみの「見える化」を図ったことで、河川に対する市民の環境保全の意識向上が期待できる。古くから実施されている定式の取組と併せて、河川のごみの状況が改善されるよう取り組んでいく。なお河川のごみへの課題は、令和3年度の事業評価・提案会でも取り上げられているが、子どもたちを対象とした環境教育の実施等、関係部局との連携の上、推進していく。 ・空き家対策については、多くの市町村においてもそうだが、新型コロナウイルス感染症の影響の中、都市部からの人流の一助となることが期待できるものの、所有者の裁量によって、具体的な対策が講じられない課題がある。制度の範囲内での対策となることは否めないが、関係部局との連携の上、できる限り対策を講じていく。</p>		<p>主管部局・課チェック欄 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>分野別政策別施策1</p>																																																																																																																																																																					

第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)

まちづくり の方向	生活・環境分野 繋がります！人と自然がいつまでも輝くまち
政策	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
施策	地球温暖化対策と自然エネルギーの普及
めざす 目的・成果	・元氣くんの再生可能エネルギー（電力）の庁舎利用や、環境教育の場として活用 ・自立型再生可能エネルギー設備の普及により脱政策社会の実現。生可能エネルギーに求められ ている蓄電・蓄電を促進し、災害や停電等非常時のエネルギーの確保につなげる

一次評価（担当課による評価）

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 家中川小水力市民発電所管理 運営事業	1,709千円	15,565千円	17,274千円	5	3	4	5	4.3	5
2 自然エネルギー推進事業	2,136千円	942千円	3,078千円	5	5	5	4	4.8	5
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	3,844千円	16,507千円	20,351千円	5.0	4.0	4.5	4.5	4.5	5.0

一次評価結果

点 数  
90.0点 /100点

コスト

予算現額	16,508千円	執行額①	16,507千円	執行率	100.0%
人件費②	3,844千円	補助金等③	93千円	純コスト①②③	20,258千円

二次評価（部局等による評価）

① 施策の必要性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5	施策の公共性、 市民ニーズなど を総合的に判断
② 施策の有効性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5	政策への貢献度 や効果の検証
③ 施策の効率性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5	費用対効果 事業規模など 総合的に判断
④ 施策の公平性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5	受益者が限定さ れていないか 負担は適当か 総合的に判断

■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

必要性	5.0
有効性	4.0
公平性	4.8

■実施評価結果

点 数 /100点  
92.5点

■評価のレーダーチャート

達成度  
100.0%

■ 来年度取り組みに向けた課題や所見

- ・ 家中川小水力市民発電所管理については、各発電所の老朽化や費用対効果について検証し、持続可能な使用を目指していく。
- ・ 再生可能エネルギーの導入にあたっては、脱炭素化やGXが社会的な話題になっている。各施設への太陽光パネルの導入や、その他、自然エネルギーの運用等、具体的な計画を講じるとともに、各課所管施設等への整備を促進していく。

主管部局・課チェック欄

分野4政策2施策3

第6次長期総合計画政策・施策評価シート(R3年度ベース)

まちづくりの方向	生活・環境分野 繋がります！人と自然がいつまでも輝くまち
政策	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
施策	★効率的で利便性の高い公共交通の選択と整備
めざす目的・成果	・ニーズに沿った利便性の良い交通網（時刻・便数・ルート）及び市民満足度の高い公共交通の実現

一次評価（担当課による評価）

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 地域公共交通対策費	641千円	27,992千円	28,633千円	4	3	3	3	3.3	1
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	641千円	28,012千円	28,653千円	4.0	3.0	3.0	3.0	3.3	1.0

一次評価結果 点数	65.点 /100点
--------------	------------

コスト	予算理額	執行額①	執行率	補助金等③	純コスト①②③
	30,203千円	28,012千円	92.7%	641千円	23,193千円

二次評価（部局等による評価）

① 施策の必要性 施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い	4
② 施策の有効性 政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5 低い 高い	3
③ 施策の効率性 費用対効果、事業規模などを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い	3
④ 施策の公平性 受益者が限定されにくいかな負担は適当かを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い	3

■ 総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

必要性	4.0
有効性	3.0
効率性	3.0
公平性	3.0
総合平均	3.0

■ 達成度

達成度	65.点 /100点
-----	------------

■ 評価のレーダーチャート

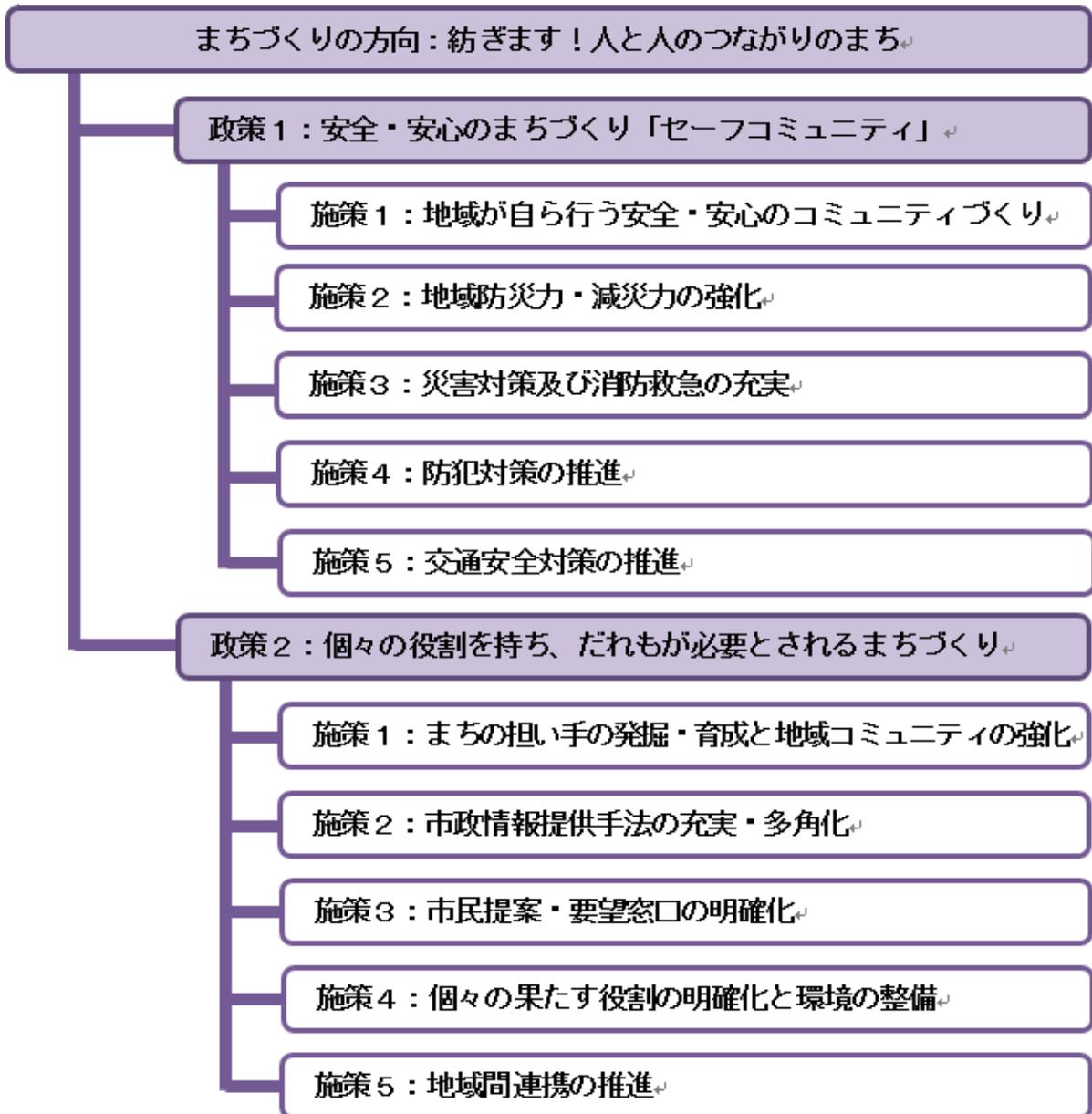
■ 来年度取り組みに向けた課題や所見

- ・高齢化が進み、事故防止のため免許返納なども促される社会的背景の中で、地域における市民ニーズを踏まえた地域公共交通の整備は、喫緊の課題である。
- ・現状の公共交通のあり方を根本からゼロベースで原直し、本市の重要課題として捉え、E B P M をしっかりと認識し、持続可能な本市にマッチした新しい「地域公共交通計画」の策定に取り組む。

主管部局・課チェック欄	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------	-------------------------------------

分野4政策2施策4

## (5) 安全・安心、コミュニティ分野



### ① 安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」

#### ■政策評価結果

各施策の評価を基に、「安全・安心のまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均4.6（5点満点）となり、100点満点換算では92.3点でした。また、一方で成果目標による達成度は79.9%となりました。

プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費54,961千円、人件費34,768千円、そして歳入として補助金等8,182千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては81,277千円となりました。

■政策評価										
施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費 (千円)	人件費 (千円)	補助金等 (千円)	純コスト (千円)	達成度	
地域が自ら行う安全・安心のコミュニティづくり	5.0	5.0	5.0	5.0	5,124	6,407	5,124	6,407	5.0	
地域防災力・減災力の強化	4.8	4.2	4.0	4.8	30,228	23,961	0	54,189	3.7	
災害対策及び消防救急の充実	5.0	4.2	4.8	5.0	13,215	4,186	387	17,014	3.7	
防犯対策の推進	5.0	4.0	4.0	4.0	6,124	214	2,671	3,667	5.0	
平均・合計	5.0	4.3	4.5	4.7	54,691	34,768	8,182	81,277	4.3	
総合評価					必要性	有効性	効率性	公平性	平均	100点換算
					5.0	4.3	4.5	4.7	4.6	92.3点
■政策成果目標達成度										
項目	現況値	目標	達成度	達成度 算出	達成度					
各対策委員会の開催件数	44	36	5.0	122.2	5.0					
取り組みの周知階数	84	40	5.0	210.0	5.0					
防災士と避難所運営リーダーのいる避難所数	16	16	5.0	100.0	5.0					
消防団員の充足率	100	100	5.0	99.7	5.0					
認定救急救命士の資格取得人数	12	20	3.4	60.0	3.4					
交通事故発生状況	53	25	5.0	212.0	5.0					
交通安全啓発活動	6	7	0.0	85.7	4.4					
平均・合計			4.1			達成度	達成度による進捗度			
						4.2	79.9%			

■レーダーチャート

<p>本施策についてはセーフコミュニティの認証を行い、それに伴う周知や啓発を実施し、おむねバランスよく達成されたといえます。</p> <p>また避難所や消防団などについても目標達成として評価していますが、安全・安心の取組については、住民の主体的な関わりや意識づけを継続していくことが重要であるといえます。</p>	
--	--

■ 施策評価結果

二次評価（部局等による評価）

<p>① 施策の必要性</p> <p>施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断</p> <p>5段階評価 低い 1 2 3 4 5 高い</p>	<p>② 施策の有効性</p> <p>政策への貢献度や効果の検証</p> <p>5段階評価 低い 1 2 3 4 5 高い</p>	<p>③ 施策の効率性</p> <p>費用対効果、事業規模などを総合的に判断</p> <p>5段階評価 低い 1 2 3 4 5 高い</p>	<p>④ 施策の公平性</p> <p>受益者が限定されていないか、負担は適当かを総合的に判断</p> <p>5段階評価 低い 1 2 3 4 5 高い</p>
---	---	---	---

<p>■ 総合評価（一次評価、二次評価の平均点）</p> <table border="1"> <tr> <th>施策評価</th> <th>必要性</th> <th>効率性</th> <th>公平性</th> </tr> <tr> <td>5.0</td> <td>5.0</td> <td>5.0</td> <td>5.0</td> </tr> </table>	施策評価	必要性	効率性	公平性	5.0	5.0	5.0	5.0	<p>■ 達成度</p> <p>100.0%</p>
施策評価	必要性	効率性	公平性						
5.0	5.0	5.0	5.0						

■ 施策評価結果

100.点 / 100点

■ 評価のレーダーチャート

■ 来年度取り組みに向けた課題や所見

- ・セーフコミュニティの国際認証により、都留市が安全・安心のまちとしてスタートアップを図れたのは評価に値する。
- ・今後重要なのは認証後の実装であり、各課の施策や政策とセーフコミュニティの紐づけや、自治会や協働のまちづくり等の市民を中心とする取組をセーフコミュニティの理念に結び付けることで、意識づけが図られ、市と市民の協働作業によって意識的に地域の安全・安心力の向上を図っていくことが重要である。

主 管 部 局 ・ 課 チェ ッ ク 欄

分野5政策1施策1

第6次長期総合計画政策・施策評価シート（R3年度ベース）

まちづくりの方向	安全・安心、コミュニティ分野 続ぎます！人と人のつながりのまち
政策	安全・安心のまちづくり
施策	★地域が自ら行う安全・安心のコミュニティづくり
めざす目的・成果	・市内における事けがの減少、市民の不安感の解消、コミュニティ活動の活性化

一次評価（担当課による評価）

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	効率性	公平性	平均	達成度
1 セーフコミュニティ事業	6,407千円	4,829千円	11,236千円	5	5	5	5.0	5
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
合計・平均	6,407千円	5,124千円	11,531千円	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0

■ 一次評価結果

点 数

100.点 / 100点

■ コスト	予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト④⑤⑥
	6,753千円	5,124千円	75.9%	6,407千円	5,124千円	6,407千円

第6次長期総合計画政策・施策評価シート(R3年度ベース)

まちづくり の方向	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
政策	安全・安心のまちづくり
施策	★地域防災力・減災力の強化
めざす 目的・成果	・地域の防災力の向上による安全・安心のまちづくりの表現 ・防災情報及び行政活動を迅速・的確に周知する ・法で定められた消防団員の整備充実 消防団員の資質の向上

一次評価(担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 地域防災力強化対策事業	10,891千円	9,807千円	20,698千円	5	4	4	5	4.5	2
2 防災行政無線管理事業	2,563千円	10,356千円	12,919千円	5	4	4	4	4.3	5
3 都留市消防団管理運営費	10,507千円	10,066千円	20,573千円	4	5	4	5	4.5	4
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	23,961千円	30,228千円	54,189千円	4.7	4.3	4.0	4.7	4.4	3.7

■一次評価結果  
点 数  
88.3点 /100点

■コスト	予算額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト④⑤⑥⑦⑧
	35,033千円	30,228千円	86.3%	23,961千円		54,189千円

二次評価(部局等による評価)

①施策の必要性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	5
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断		
②施策の有効性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	4
政策への貢献度や効果の検証		
③施策の効率性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	4
費用対効果、事業規模など総合的に判断		
④施策の公平性	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	5
受益者が限定され、負担は適当か総合的に判断		

■総合評価(一次評価、二次評価の平均点)

必要性	4.8
有効性	4.2
効率性	4.0
公平性	4.8

■達成度 66.7%

■施策評価結果 点 数 89.2点 /100点

■評価のレーダーチャート

■来年度取り組みに向けた課題や所見

- ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、自主防災会などの活動が難しい中ではあるが、災害のリスクが突発的である以上、地域コミュニティにおいては、日常的な備えや防災への意識向上は常の課題である。令和3年度には事業評価・提案会に地域防災力強化対策事業が提案され、子どもたちへの防災教育や子どもを対象とした防災リーダーの育成も評価人から意見されている通り、防災対策は人材育成が非常に重要であると感じる。
- ・なお、消防団についても同様のことと言え、各地域の消防団員が減少している中で、担い手の確保が必要である。
- ・併せて、災害時の備えとしては、感染症のリスク対策や生理用品などの手配といった避難所におけるジェンダーの課題の対応など、社会状況を踏まえた対応が必要である。

主管部局・課チェック欄  分野5政策1施策2

第6次長期総合計画政策・施策評価シート(R3年度ベース)

まちづくり の方向	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
政策	安全・安心のまちづくり
施策	★災害対策及び消防救急の充実
めざす 目的・成果	・地震発生時の危険なブロック塀等の倒壊又は転倒による災害を防止 ・各担当業務並びに複雑多様化する災害に対応するべく、職員のスキルアップを目指し、少数精鋭で質の高い各種業務の遂行及び災害対応が出来るよう組織力を上げる 等

一次評価（担当課による評価）

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 ブロック塀等撤去促進事業	684千円	549千円	1,233千円	5	3	5	5	4.5	1
2 常備消防防総務関係費	1,752千円	7,869千円	9,621千円	5	5	4	5	4.8	5
3 教育訓練関係費	1,752千円	4,797千円	6,549千円	5	5	5	5	5.0	5
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	4,186千円	13,215千円	17,401千円	5.0	4.3	4.7	5.0	4.8	3.7

■一次評価結果  
点 数  
95.点 /100点

■コスト

予算額	16,077千円	執行額①	13,215千円	執行率	82.2%
人件費②	4,186千円	補助金等③	387千円	純コスト①②③	17,014千円

二次評価（部局等による評価）

① 施策の必要性 施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5
② 施策の有効性 政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5
③ 施策の効率性 費用対効果、事業規模などを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5
④ 施策の公平性 受益者が限定されていないか負担は適当かを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5

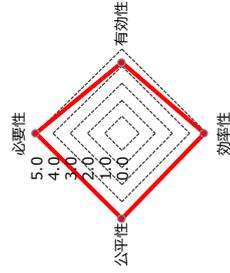
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

必要性	5.0
有効性	4.2
効率性	4.8
公平性	5.0

■施策評価結果  
点 数  
95.点 /100点

達成度  
66.7%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見  
・ブロック塀等撤去促進事業については、過去の災害を受けて対策を講じているが、特に重要路線のブロック塀撤去については、喫緊の対策が必要であるものの、地権者との折衝が難しい部分もあり、申請が減少している。注意喚起や歩行者の安全確保の面を訴え、対策につながるよう検討をしていく必要がある。  
・また救急救命士や消防職員についても、市民の安全をしっかりと確保していくため、今後も研修などを実施し、育成していく。

主管部局・課チェック欄

分野5政策1施策3	<input checked="" type="checkbox"/>
-----------	-------------------------------------

第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)

まちづくりの方向	安全・安心、コミュニティ分野 納めます！人と人のつながりのまち
政策	安全・安心のまちづくり
施策	★防犯対策の推進
めざす目的・成果	市内における犯罪件数の減少、市民の犯罪に対する不安感（体感治安）の解消

二次評価 (担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 防犯対策事業	214千円	6,152千円	6,366千円	5	4	4	4	4.3	5
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	214千円	6,124千円	6,338千円	5.0	4.0	4.0	4.0	4.3	5.0

■一次評価結果

点 数	85. 点 /100点
-----	-------------

■コスト

予算現額	6,124千円	執行率	97.3%
人件費②	214千円	補助金等③	3,667千円
純コスト①の②-③			

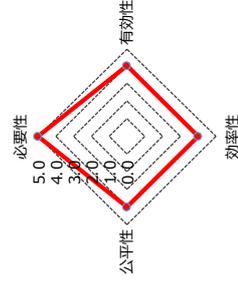
二次評価 (部局等による評価)

①施策の必要性 施策の公共性 市民ニーズなどを 総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5	5
②施策の有効性 政策への貢献度 や効果の検証	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5	4
③施策の効率性 費用対効果 事業規模など 総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5	4
④施策の公平性 受益者が限定さ れていないか 負担は適当か 総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5	4

■総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	4.0	4.0	4.0

■ 施策評価結果	達成度
点数	100.0%
85. 点 /100点	

■評価のレーダーチャート



■ 来年度取り組みに向けた課題や所見

- ・セーフコミュニティの認証には、防犯対策力の向上も重要な観点といえる。
- ・安全・安心ステーションが拠点となる市民の防犯意識を高めるソフト事業については、防犯意識の啓発だけでなく、市民が協働して防犯対策を行う、まちぐるみの体制を作っていく必要がある。
- ・具体的な検討については、セーフコミュニティ防犯対策委員会との連携により、効果的な対策を進めていく。
- ・なお、青色パトロールのように市が実施する防犯対策も重要であるが、市民一人一人が防犯対策の意識を持ち、自事として防犯対策を取り組むことも重要である。自助・共助の観点に基づく防犯対策事業についても検討し、推進していく。

主管部局・課チェック欄

分野5政策1施策4

第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)

まちづくりの方向	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
政策	安全・安心のまちづくり
施策	★交通安全対策の推進
めざす目的・成果	・市内における交通事故発生件数(死亡者数・負傷者数)の減少、市民の交通法規の順守 ・市内における交通事故の減少(主に車両事故)

一次評価(担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	公平性	平均	達成度
1 交通安全対策事業	1,175千円	4,137千円	5,312千円	5	4	5	4.8	5
2 交通安全施設設置事業	855千円	5,259千円	6,108千円	5	5	5	5.0	5
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
合計・平均	2,029千円	9,341千円	11,370千円	5.0	4.5	5.0	4.9	5.0

■一次評価結果  
点 数  
97.5点 /100点

■コスト	予算額	9,525千円	執行額①	9,341千円	執行率	98.1%	補助金等③	640千円	純コスト①②③	10,730千円
	人件費②	2,029千円								

二次評価(部局等による評価)

① 施策の必要性 施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5
② 施策の有効性 政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5
③ 施策の有効性 費用対効果、事業規模などを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5
④ 施策の公平性 受益者が隔たっていないか、負担は適当かを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5

■総合評価(一次評価、二次評価の平均点)

必要性	5.0
有効性	4.8
公平性	5.0

■達成度

100.0%

■評価のレーダーチャート

点 数  
98.8点 /100点

■来年度取り組みに向けた課題や所見

- 交通安全対策に基づき高齢者の免許の自主返納を進めたいところではあるが立地的な課題もあるため、公共交通対策と複合的に課題解決していくことが必要であると考え
- 道路整備については、学校の協議会や関係部局と連携しながら、リスクの高い箇所をピックアップし、対策を講じることが重要である。
- また、国道・県道等、管轄が異なる場合は、早急な折衝が必要と考え。併せて建設課や教育委員会の通学路安全推進協議会での学校要望など、各課の道路状況を把握しながら対策を講じていく必要があると考え。

主管部局・課チェック欄

分野5政策1施策5

## ② 個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり

### ■政策評価結果

各施策の評価を基に、「個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均3.7（5点満点）となり、100点満点換算では74.6点でした。また、一方で成果目標による達成度は41.8%となりました。

プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 53,481 千円、人件費 18,145 千円、そして歳入として補助金等 4,652 千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては66,974 千円となりました。

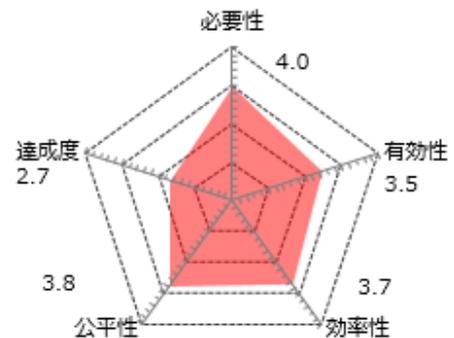
■政策評価									
施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費 (千円)	人件費 (千円)	補助金等 (千円)	純コスト (千円)	達成度
まちの担い手の発掘・育成と地域コミュニティの強化	4.0	3.0	3.0	4.0	0	1,922	0	1,922	1.0
市政情報提供手法の充実・多角化	5.0	4.0	4.0	5.0	12,113	6,065	372	17,806	3.0
個々の果たす役割の明確化と環境の整備	4.0	3.8	3.8	4.0	41,368	9,944	4,280	47,032	1.3
地域間連携の推進	3.0	3.0	4.0	2.0	0	214	0	214	5.0
平均・合計	4.0	3.5	3.7	3.8	53,481	18,145	4,652	66,974	2.6
総合評価	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	100点換算			
	4.0	3.5	3.7	3.8	3.7	74.6点			
■政策成果目標達成度									
項目	現況値	目標	達成度	達成度 算出	達成度				
協働のまちづくり推進会連絡会及び研修会の開催	2	5	2.6	40.0	2.6				
ホームページアクセス数	1,976,996	2,000,000	5.0	98.8	5.0				
ふれあい集会開催数	0	8	1.0	0.0	1.0				
結婚相談所への新規登録者数	594	609	4.9	97.5	4.9				
市民活動支援センター利用者数	270	1,150	1.9	23.5	1.9				
「男女共同参画」という用語の理解度	36.5	50	3.9	73.0	3.9				
都留・ヘンダーソンビル友好委員会会員数	88	101	0.0	87.1	4.5				
平均・合計			2.8			達成度	達成度による進捗度		
						2.7	41.8%		

### ■レーダーチャート

ホームページの更新などによりアクセス数の増加は見られるものの、全体的に未達成のものが多いのが現状です。

ヘンダーソンビルの取組については、新型コロナウイルス感染症の影響による入国制限があるため、令和4年度以降の体制についての検討が求められます。

また、「男女共同参画」については、価値観がアップデートされていく状況を踏まえた指標を検討していくことが重要です。



■ 施策評価結果

二次評価 (部局等による評価)

■ 総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)

必要性	有効性	効率性	公平性
4.0	3.0	3.0	4.0

■ 施策評価結果  
点 数 70.点 /100点

■ 評価のレーダーチャート

第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)

まちづくり の方向	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
政策	個々の役割を持ち、たれもが必要とされるまちづくり
施策	★まちの担い手の発掘・育成と地域コミュニティの強化
めざす 目的・成果	コミュニティ活動の維持及び活動の活性化

一次評価 (担当課による評価)

■ 施策を構成する予算事業と評価

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 まちづくり推進事業	1,922千円	16,129千円	18,051千円	4	3	3	4	3.5	1
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	1,922千円	1,922千円	1,922千円	4.0	3.0	3.0	4.0	3.5	1.0

■ 一次評価結果  
点 数 70.点 /100点

■ コスト

予算現額	17,492千円	執行額①		人件費②	1,922千円	補助金等③	1,922千円	純コスト①②③	1,922千円
------	----------	------	--	------	---------	-------	---------	---------	---------

■ 来年度取り組みに向けた課題や所見  
・ 新型コロナウイルス感染症の影響にともなうコミュニティ活動の縮小は、持続可能な地域運営にとって大きな課題であり、また、将来的な住民の共助のあり方を考えていく上でも、感染症による行動制限は、まちづくりにおいて具体的な対策検討を行うべき機会となったといえる。コロナ終息後、あるいはウィズコロナの現状など、影響を注視しながら、助成事業にとどまらない、住民活動のニーズ調査、コミュニティ醸成に係る関係部局との連携、コミュニティの運営に必要なきめ細やかな行政サポートの検討などが重要になると考える。  
・ 様々な自治体が行うコミュニティ政策において、本市に活用できる先行事例など、情報収集と実践を検討しながら、本市の住民活動の衰退に歯止めをかけていく必要がある。

主管部局・課チェック欄

分野5政策2施策1

第6次長期総合計画政策・施策評価シート(R3年度ベース)

まちづくりの方向	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
政策	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
施策	市政情報提供手法の充実・多角化
めざす目的・成果	・市の行政情報や魅力を伝えること ・開かれた議会を目指し、議会情報を積極的に提供

二次評価(担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 広報発行事業	4,699千円	9,811千円	14,510千円	5	5	5	5	5.0	5
2 議会だより発行事業	1,367千円	2,303千円	3,670千円	5	3	3	5	4.0	1
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	6,065千円	12,113千円	18,178千円	5.0	4.0	4.0	5.0	4.5	3.0

■一次評価結果  
点数 90.0点 /100点

■コスト

予算現額	13,247千円	執行額①	12,113千円	執行率	91.4%
人件費②	6,065千円	補助金等③	372千円	純コスト④	17,806千円

二次評価(部局等による評価)

① 施策の必要性 施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 低い 2 3 4 5 高い
② 施策の有効性 政策への貢献度や効果の検証	1 低い 2 3 4 5 高い
③ 施策の効率性 費用対効果、事業種類などを総合的に判断	1 低い 2 3 4 5 高い
④ 施策の公平性 受益者が限定されていないか、負担は適当かを総合的に判断	1 低い 2 3 4 5 高い

■総合評価(一次評価、二次評価の平均点)

施策評価	必要性	有効性	公平性
5.0	4.0	4.0	5.0

■達成度 50.0%

■施策評価結果  
点数 90.0点 /100点

■評価のレーダーチャート

■本年度取り組みに向けた課題や所見

- ・新型コロナウイルス感染症の影響下にあつて、ホームページのトップ画面から新型コロナウイルス感染症の市内・県内の状況やワクチン接種関連のページをまとめ、市民の方にわかりやすい情報発信を実施している。
- ・また、議会だよりについても、議決内容を周知するページや学生参加型企画を創設するなどして、コロナ禍であってもできる取組みを図っている。
- ・今後は、多様な種類のあるSNSといったツールも庁内で有効活用できるような方法を検討し、推進していく。また、手動に頼らず、市民がほしい情報を適切に入手できることを念頭に、情報発信先のターゲットの厳選を図るなど、五月雨の情報発信ではない効果的・効率的かつ戦略的な情報発信の方法を推進することが重要である。

主管部局・課チェック欄

分野5政策2施策2

第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)

まちづくりの方向	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
政策	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
施策	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
めざす目的・成果	・自治基本条例に規定された地域コミュニティの促進 ・男女共同参画の推進・啓発、認知度の向上 ・市民の生涯学習活動・世代間交流等の支援・促進 等

一次評価 (担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 結婚相談事業	129千円	246千円	375千円	4	4	3	3	3.5	2
2 協働のまちづくり事業	214千円	967千円	1,181千円	4	4	4	5	4.3	3
3 男女共同参画推進事業	2,136千円	535千円	2,671千円	4	3	4	3	3.5	-
4 成人式開催事業	1,700千円	297千円	2,006千円	5	4	5	5	4.8	1
5 まちづくり交流センター管理運営事業	3,364千円	32,171千円	35,535千円	4	4	3	4	3.8	1
6 ふるさと会館管理運営事業	2,396千円	5,721千円	8,116千円	3	3	3	4	3.3	1
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	9,944千円	41,368千円	51,312千円	4.0	3.7	3.7	4.0	3.8	1.3

■一次評価結果  
点 数  
76.7点 /100点

■コスト

予算額	41,368千円	執行率	87.1%
人件費②	9,944千円	補助金等③	4,280千円
純コスト①②③	47,472千円	純コスト	47,032千円

二次評価 (部局等による評価)

① 施策の必要性 施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	4
② 施策の有効性 政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	4
③ 施策の効率性 費用対効果、事業規模などを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	4
④ 施策の公平性 受益者が限定されていないか負担は適当かを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1~5	4

■総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)

必要性	4.0
有効性	3.8
効率性	3.8
公平性	4.0

■達成度 8.3%

■施策評価結果  
点 数  
78.3点 /100点

■評価のレーダーチャート

■来年度取り組みに向けた課題や所見

- ・協働のまちづくりについては、新型コロナウイルス感染症の影響の影響があり、活動の停滞が見られる。自治会などと同様に、担い手育成のための手段や支援対策を実施していく必要がある。
- ・男女共同参画については計画の見直しを図られているが、社会的な背景や他自治体の動向なども踏まえ多様性についても理解の深められるよう推進していく必要があると考える。
- ・各種施設の運営にあたっては、公共施設総合管理計画に準じた適切な改修や継続的利用が可能な方法を検討していく必要があると考える。

主管部局・課チェック欄

分野5政策2施策4

第6次長期総合計画政策・施策評価シート(R3年度ベース)

まちづくり の方向	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
政策	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
施策	地域間連携の推進
めざす 目的・成果	・市民の国際理解と国際感覚を養うとともに、今後の継続的な交流発展に寄与する。

二次評価（担当課による評価）

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 国際交流事業	214千円		214千円	3	3	4	2	3.0	5
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	214千円		214千円	3.0	3.0	4.0	2.0	3.0	5.0

■一次評価結果  
点 数  
60.点 /100点

■コスト			
予算現額	4,651千円	執行額①	
		人件費②	214千円
		補助金等③	純コスト④⑤⑥⑦
			214千円

二次評価（部局等による評価）

① 施策の必要性 施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5	3
② 施策の有効性 政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5	3
③ 施策の効率性 費用対効果、事業規模などを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5	4
④ 施策の公平性 受益者が限定されいないか、負担は適当かを総合的に判断	1 2 3 4 5 低い 高い 5段階評価 1～5	2

■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

総合評価	必要性	有効性	効率性	公平性
3.0	3.0	4.0	4.0	2.0

■達成度  
100.0%

■評価のリーダーチャート

■来年度取り組みに向けた課題や所見

・新型コロナウイルス感染症の中で、国際交流事業については実施が難しい側面がある。社会情勢なども踏まえながら、オンラインなどの手法や、それに代わる方法を検討の上、実施していく必要がある。

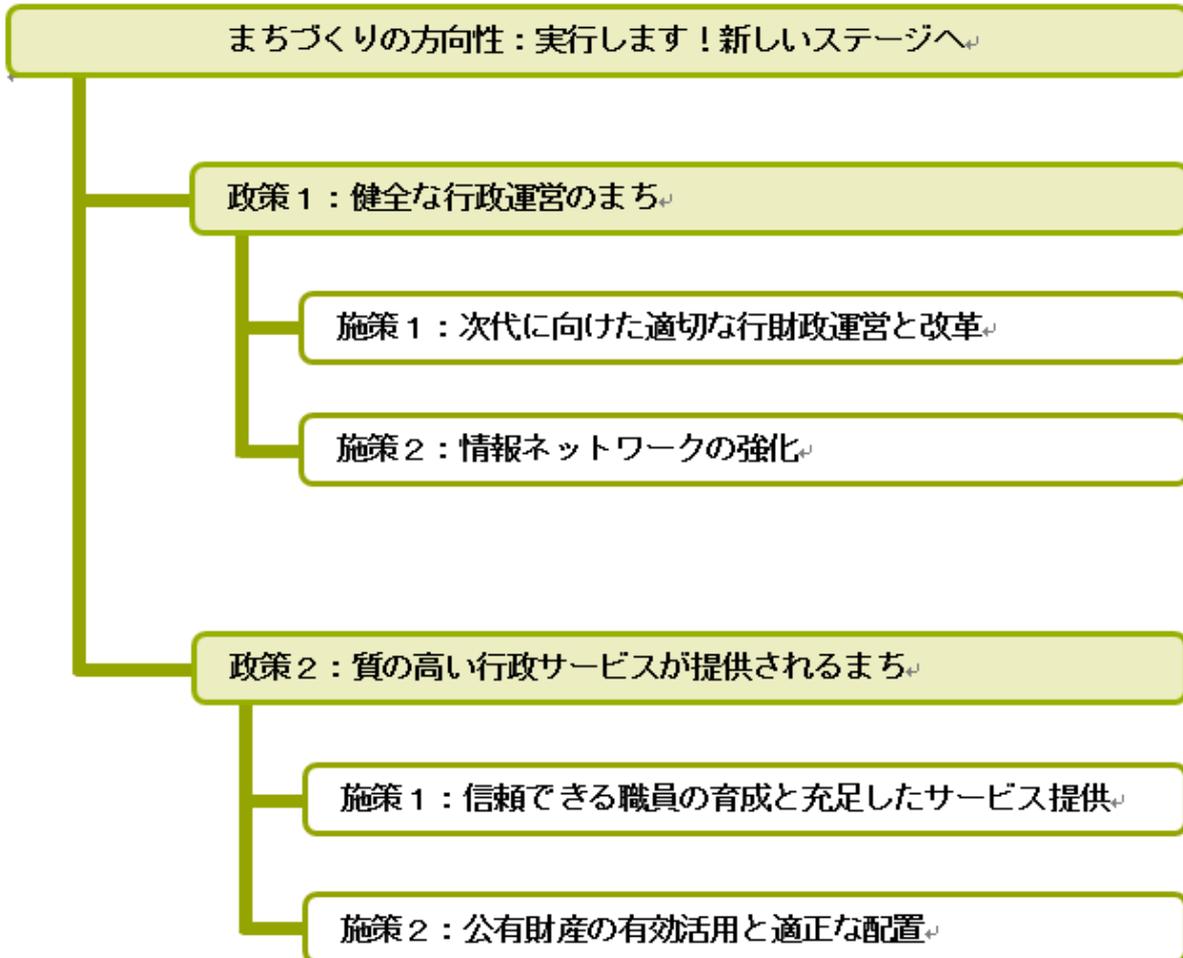
・将来的に交流が再開した際には、市の生涯活躍のまちの取組や都留文科大学生との交流など、単なる関係人口的な位置づけだけでなく、市と密接にかかわり、市への愛着などの醸成にもつながる取組を行っていく。

主管部局・課子チェック欄



分野5政策2施策5

## (6) 行財政分野



### ① 健全な行政運営のまち

#### ■政策評価結果

各施策の評価を基に、「健全な行政運営のまち」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

その他事業による総合評価は平均 4.6（5点満点）となり、100点満点換算では85.6点でした。また、一方で成果目標による達成度は73.2%となりました。

プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 232,400 千円、人件費 139,439 千円、そして歳入として補助金等 30,327 千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては 341,512 千円となりました。

■政策評価											
施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費 (千円)	人件費 (千円)	補助金等 (千円)	純コスト (千円)	達成度		
次代に向けた適切な行財政運営と改革	4.9	3.9	4.1	4.4	75,256	97,122	11,195	161,183	4.8		
情報ネットワークの強化	5.0	5.0	5.0	4.2	433,946	17,243	29,748	421,441	3.8		
平均・合計	4.9	4.4	4.6	4.3	509,202	114,365	40,943	582,624	4.3		
総合評価										100点換算	
					必要性	有効性	効率性	公平性	平均	91.1点	
					4.9	4.4	4.6	4.3	4.6		
■政策成果目標達成度											
項目	現況値	目標	達成度	達成度 算出	達成度						
ふるさと納税額	173,820	3,500	5.0	4966.3	5.0						
基幹系システムの稼働率	99.9	100	5.0	99.9	5.0						
情報セキュリティに関する職員研修参加者数	65	80	4.3	81.3	4.3						
平均・合計				4.7			達成度	達成度による進捗度			
							4.5	87.8%			

■レーダーチャート

バランスよく得点できています。ふるさと納税については額の増加は評価できますが、今後は財源の地域還元など、アウトカムの観点からの指標を設定していくことが重要です。

また、今後はDXの推進やそれに伴うセキュリティ要件の調整が必要となるため、市民・職員それぞれに対する情報発信を適切に実施し、理解を深めていくことが重要です。

■ 施策評価結果

### 第6次長期総合計画政策・施策評価シート(R3年度ベース)

まちづくりの方向	行財政分野「実行します！新しいステージへ」		
政策	健全な行政運営のまち		
施策	次代に向けた適切な行政運営と改革		
めざす目的・成果	・ 公共施設等の更新・統廃合・長寿命化による財政負担を軽減・適正配置の実現。 ・ 税等負担の公平性の確保と財政力の強化 ・ 市税料の賦課徴収の適正化及び事務効率化 等		

### 二次評価(担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 行財政改革推進費	2,136千円	5,940千円	8,076千円	5	5	5	5	5.0	5
2 地方公会計制度推進事業	428千円	3,823千円	4,251千円	5	3	5	4	4.3	4
3 債権回収特別対策費	214千円	7,164千円	7,378千円	4	4	4	5	4.3	5
4 賦課徴収費	94,346千円	58,560千円	152,906千円	5	3	3	5	4.0	5
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	97,122千円	75,256千円	172,378千円	4.8	3.8	4.3	4.8	4.4	4.8

■ 一次評価結果

点 数	87.5点 / 100点
-----	--------------

■ コスト

予算現額	83,511千円	執行額①	75,256千円	執行率	90.1%
人件費②	97,122千円	補助金等③	11,195千円	純コスト①②③	161,183千円

### 二次評価(部局等による評価)

① 施策の必要性	1 2 3 4 5	低い 高い	5段階評価	1~5
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5	低い 高い	5段階評価	1~5
② 施策の有効性	1 2 3 4 5	低い 高い	5段階評価	1~5
政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5	低い 高い	5段階評価	1~5
③ 施策の効率性	1 2 3 4 5	低い 高い	5段階評価	1~5
費用対効果、事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 5	低い 高い	5段階評価	1~5
④ 施策の公平性	1 2 3 4 5	低い 高い	5段階評価	1~5
受益者が限定されないか負担は適当か総合的に判断	1 2 3 4 5	低い 高い	5段階評価	1~5

■ 総合評価(一次評価、二次評価の平均点)

必要性	4.9	有効性	4.1	公平性	4.4
-----	-----	-----	-----	-----	-----

■ 施策評価結果

点 数	86.3点 / 100点
-----	--------------

■ 評価のレーダーチャート

達成度 93.8%

■ 来年度取り組みに向けた課題や所見

- 令和3年度に改訂した都留市公共施設等総合管理計画に基づき、今後の各施設の改修や精査について、全庁的に計画的に対応していくことが必要である。とりわけ、学校施設の耐震化や、びゅうあふの譲受とそれに伴う新町館の解体、各コミュニティセンターの改修等、現状に即し、市にとって真に必要な施設管理を行っていく必要がある。
- 賦課徴収事務については自治体DXの推進に準じたシステム活用の検討や外部委託の導入により、適正化や効率化を推進していく。

主管部局・課チェック欄

分野6政策1施策1

第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)

まちづくりの方向	行政分野「実行します！新しいステージへ」
政策	健全な行政運営のまち
施策	情報ネットワークの強化
めざす目的・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都留市職員が効率的に業務ができる状態。</li> <li>・都留市民が必要な時に必要な証明書を取得できる状態。</li> <li>・社会保険・税制度の効率的な実施、利便性の高い、公平・公正な社会を実現 等</li> </ul>

一次評価 (担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 情報ネットワーク管理事業	4,699千円	98,242千円	102,941千円	5	5	5	4	4.8	5
2 基幹システム管理事業	5,553千円	322,785千円	328,338千円	5	5	5	5	5.0	4
3 各種業務システム管理事業	2,456千円	11,922千円	14,378千円	5	5	5	5	5.0	5
4 総合行政ネットワーク事業	641千円	271千円	912千円	5	5	5	5	5.0	1
5 社会保障・税番号制度事業	3,896千円	728千円	4,624千円	5	5	5	3	4.5	4
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	17,243千円	433,946千円	451,189千円	5.0	5.0	5.0	4.4	4.9	3.8

一次評価結果  
点 数  
97.点 /100点

コスト

予算総額	460,905千円	執行額①	433,946千円	執行率	94.2%
人件費②	17,243千円	補助金等③	29,748千円	純コスト④⑤⑥⑦	421,441千円

二次評価 (部局等による評価)

① 施策の必要性 施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 低い 2 3 4 5 高い	5
② 施策の有効性 政策への貢献度や効果の検証	1 低い 2 3 4 5 高い	5
③ 施策の効率性 費用対効果、事業規模などを総合的に判断	1 低い 2 3 4 5 高い	5
④ 施策の公平性 受益者が限定され、負担は適当かを総合的に判断	1 低い 2 3 4 5 高い	4

■ 総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)

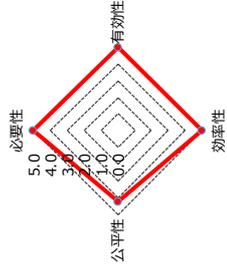
必要性	5.0
有効性	5.0
効率性	5.0
公平性	4.2

■ 施策評価結果

点 数 96.点 /100点

達成度 70.0%

■ 評価のレーダーチャート



■ 本年度取り組みに向けた課題や所見

・自治体DXを推進するために、市や市民がDX化によるメリット・デメリットの双方の検証や、またDX化に伴う効率化や一元化により、サービスの向上につながるような、スキームの検討が必要と考える。それに伴う情報セキュリティポリシーの改定についても推進していく必要がある。また共用空間データの活用についても、市民ニーズを踏まえつつ、積極的に活用されるシステムを構築していく必要がある。

・全国的にもマイナンバーカードの普及率が伸び悩む中で、単なるポイント付与だけでなく、都留市ならではの利活用方法を構築することで、他市にはないインセンティブを市民が供与できるような仕組みを検討していく必要がある。

主管部局・課チェック欄

分野6政策1施策2

## ② 質の高い行政サービスが提供されるまち

### ■政策評価結果

各施策の評価を基に、「質の高い行政サービスが提供されるまち」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

施策のうち、「公共施設の有効活用と適正な配置」については、予算事業に評価対象事業が含まれなかったため、施策評価はありません。

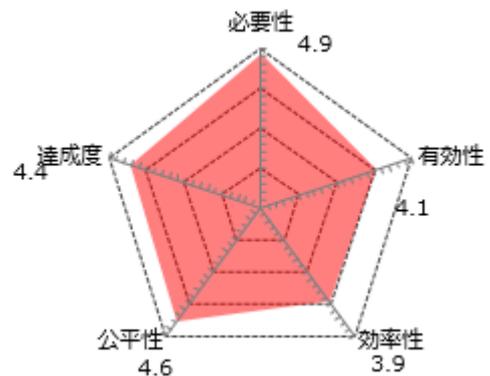
その他事業による総合評価は平均 4.4（5点満点）となり、100点満点換算では87.2点でした。また、一方で成果目標による達成度は86.1%となりました。

プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 119,656 千円、人件費 20,637 千円、そして歳入として補助金等は 39,721 千円、歳入を差し引いて、純コストとしては 100,572 千円となりました。

施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費 (千円)	人件費 (千円)	補助金等 (千円)	純コスト (千円)	達成度
信頼できる職員の育成と充足したサービス提供	5.0	4.3	4.8	5.0	24,569	2,136	8,975	17,730	5.0
公有財産の有効活用と適正な配置	4.8	3.9	3.1	4.1	95,087	18,501	30,746	82,842	3.0
平均・合計	4.9	4.1	3.9	4.6	119,656	20,637	39,721	100,572	4.0
総合評価	必要性	有効性	効率性	公平性	平均				100点換算
	4.9	4.1	3.9	4.6	4.4				87.2点
■政策成果目標達成度									
項目	現況値	目標	達成度	達成度 算出	達成度			達成度	達成度による進捗度
職員1人あたりの研修参加回数	3.5	3.6	4.9	97.2	4.9			4.4	86.1%
平均・合計			4.9					4.4	86.1%

### ■レーダーチャート

バランスよく得点できていますが、効率性において若干低い点数となっています。行政運営等は、効率性的に実施して初めて好結果を出すものと言えるものでもありますので、今後はこうした事業の手順等をチェックし、効率性の高い事業推進に努めていく必要があります。



■ 施策評価結果

二次評価 (部局等による評価)

■ 総合評価 (一次評価、二次評価の平均点)

必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	4.3	4.8	5.0

■ 施策評価結果

点 数 95.点 /100点

達成度 100.0%

■ 評価のレーダーチャート

① 施策の必要性  
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断  
1 2 3 4 5  
低い 高い  
5段階評価 1~5

② 施策の有効性  
政策への貢献度や効果の検証  
1 2 3 4 5  
低い 高い  
5段階評価 1~5

③ 施策の効率性  
費用対効果、事業規模などを総合的に判断  
1 2 3 4 5  
低い 高い  
5段階評価 1~5

④ 施策の公平性  
受益者が限定されていないか、負担は適当か、総合的に判断  
1 2 3 4 5  
低い 高い  
5段階評価 1~5

■ 来年度取り組みに向けた課題や所見

・各職員の能力向上にあたっては、eラーニングを活用し、市の職員の能力向上につなげていく。また民間研修などを通じた行政の垣根を超えた企業目線の思考力・企画力やサービス精神を備えた職員の育成を推進していく。

・また、市の職員のメンタルヘルスの向上やSDGsの促進、多様性社会といった、社会的課題にも対応する研修などを講じていく必要がある。

・マイナンバーを利用して、コンビニエンスストアのマルチコピー機で住民票の写しや印鑑証明書を取得できる「コンビニ交付サービス」については、導入にあたり整備を進め、令和3年度3月よりサービスを開始し、導入後、ひと月で160件以上の申請があった。今後は、交付率が十分でないマイナンバーカードの促進と併せて、窓口より手数料が安いといったメリットを周知し、コンビニ交付の利用促進と窓口業務の効率化を図っていく。

主管部局・課チェック欄

分野6政策2施策1

第6次長期総合計画政策・施策評価シート (R3年度ベース)

まちづくりの方向  
行政分野「実行します！新しいステージへ」

政策  
質の高い行政サービスが提供されるまち

施策  
信頼できる職員の育成と充足したサービス提供

めざす目的・成果  
・市民等の公衆衛生その他公共の福祉の向上  
・証明書コンビニ等交付による市民利便性の向上

一次評価 (担当課による評価)

■ 施策を構成する予算事業と評価

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 職員研修事業	2,136千円	1,411千円	3,547千円	5	4	4	5	4.5	5
2 コンビニ交付サービス事業		730千円	730千円	5	5	5	5	5.0	5
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	2,136千円	2,141千円	4,277千円	5.0	4.5	4.5	5.0	4.8	5.0

■ 一次評価結果

点 数 95.点 /100点

■ コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①②③
26,011千円	24,569千円	94.5%	2,136千円	8,975千円	17,730千円

第6次長期総合計画政策・施策評価シート(R3年度ベース)

まちづくりの方向	行財政分野「実行します！新しいステージへ」
政策	質の高い行政サービスが提供されるまち
施策	公有財産の有効活用と適正な配置
めざす目的・成果	・庁舎の良好な状態の確保や長寿命化 ・公用車の適正な配置、車両事故の減少 ・省エネ対策として電気照明のLED化等、計画的に取り組み、電気量削減を図る 等

二次評価(担当課による評価)

事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1 財産管理関係経費	5,980千円	40,026千円	46,006千円	5	3	3	5	4.0	1
2 公用車両管理経費	3,167千円	11,225千円	14,392千円	5	5	4	5	4.8	5
3 コミュニティセンター管理事業	8,928千円	33,213千円	42,141千円	4	3	3	4	3.5	1
4 保健福祉センター管理運営事業(まいまいプラザ都留照明)	428千円	1,705千円	2,133千円	4	4	3	3	3.5	5
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
合計・平均	18,501千円	95,087千円	113,588千円	4.5	3.8	3.3	4.3	3.9	3.0

■一次評価結果  
点数 78.8点 /100点

■コスト	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①②③
	412,516千円	95,087千円 23.1%	18,501千円	30,746千円	82,842千円

二次評価(部局等による評価)

① 施策の必要性 施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 低い 2 3 4 5 高い
② 施策の有効性 政策への貢献度や効果の検証	1 低い 2 3 4 5 高い
③ 施策の効率性 費用対効果、事業規模などを総合的に判断	1 低い 2 3 4 5 高い
④ 施策の公平性 受益者が限定されないか、負担は適当か、総合的に判断	1 低い 2 3 4 5 高い

■総合評価(一次評価、二次評価の平均点)

必要性	4.8
有効性	3.9
効率性	3.1
公平性	4.1

■達成度 50.0%

■実施評価結果 点数 79.4点 /100点

■評価のレーダーチャート

■来年度取り組みに向けた課題や所見

- ・公民連携の体制により、コミュニティセンターの運営体制を改善していく必要がある。特に郵便局への委託に伴い、コミュニティの活性化への取組を図ることが重要となってくる。適切な管理以上に、地域コミュニティの具体的な検討など、今後の具体的な方針を検討し、実現していく。
- ・その他各財産管理にあたっては、利用率や市民ニーズを踏まえながら運用・整理を進めていく。

主管部局・課チェック欄

分野6政策2施策2